

KENWOOD

TV/DVDレシーバー

VDX-09M

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使い
ください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



目次

使用上のご注意	4	モニター部と画質の調整	46
ディスクの取り扱い	8	● Screen Control画面を表示する	
地上デジタル放送の開始とアナログ放送の終了について	10	● Angle Control画面を表示する	
モニターのオープン・クローズと電源	12	セットアップメニュー	
プロテクションパネルの脱着	13	セットアップメニュー	47
VDX-09M Basic operation	14	● コントロール画面を表示する	
リモコン Basic operation	16	● セットアップメニュー画面を表示する	
スモールディスプレイ切り替え	18	Audio Set Up	48
スクリーンモード切り替え	19	● Car Type Set Up画面を表示する	
DVDビデオ/DVDオーディオ/ビデオCDプレイ		● Speaker Set Up画面を表示する	
コントロール	20	● Channel Level画面を表示する	
● DVD/VCD再生画面を表示する		● Speaker Set Up	
● イージーコントロールパネルを表示する		● Channel Level	
● DVD-V/DVD-A/VCDコントロール画面を表示する		● DTAの設定	
● DVDディスクメニュー		● クロスオーバーネットワークの設定	
● VCDズームコントロール		● Speaker Set Upのメモリー	
● 情報表示		DVD SETUP	54
● ダイレクトサーチ		● DVD SETUP 1画面を表示する	
TVコントロール	26	● DVD SETUP 2画面を表示する	
● TV映像画面を表示する		● DVD SETUP 3画面を表示する	
● イージーコントロールパネルを表示する		● 言語の設定	
● TVコントロール画面を表示する		● パレンタルレベル設定	
● TVメニュー画面を表示する		System Setup	58
● シークモード		● System 1画面を表示する	
● オートメモリー		● System 2画面を表示する	
● マニュアルメモリー		AV Interface	60
● プリセットセレクト		● AV I/F 1画面を表示する	
● ステーションネームセット		● AV I/F 2画面を表示する	
● ダイレクトサーチ		User Interface	62
TUNERコントロール	30	● User I/F 1画面を表示する	
● イージーコントロールパネルを表示する		● User I/F 2画面を表示する	
● TUNERコントロール画面を表示する		● User I/F 3画面を表示する	
● TUNERメニュー画面を表示する		● Touch Panel Adjust	
● シークモード		● Clock	
● オートメモリー		● Security Code Set	
● マニュアルメモリー		● AMP Control	
● プリセットセレクト		サウンドエフェクトメニュー	
● ステーションネームセット		サウンドエフェクトメニュー	68
● ダイレクトサーチ		● コントロール画面を表示する	
● 交通情報		● サウンドエフェクトメニュー画面を表示する	
● 交通情報中の音量をメモリーする		Audio Control	69
CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャープレイ		● Audio Control画面を表示する	
コントロール	36	SFC	70
● イージーコントロールパネルを表示する		● SFC画面を表示する	
● CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーコントロール画面を表示する		● SFC Adjust	
● CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーメニュー画面を表示する		Equalizer	72
● ディスクネームセット		● Equalizer画面を表示する	
● フォルダセレクト (MP3/WMAプレイ時)		● Parametric Equalizer	
● ID3/WMA TAG表示 (MP3/WMAプレイ時)		Position	74
● DISC SELECT (ディスクチェンジャーにてプレイ時)		● Position画面を表示する	
● ダイレクトサーチ		● Position Fine Control	
ソースセレクト	44	Zone Control	76
● コントロール画面を表示する		● Zone Control画面を表示する	
● ソースセレクト画面を表示する		取り付け上のご注意	78
文字の入力	45	取り付けかた	80
● 文字入力画面の使いかた		接続のしかた	88
● 漢字の入力		HELP	92
		保証とアフターサービス	99
		仕様一覧	100

Windows Media™は、米国Microsoft Cororationの米国、およびその他の国における商標です。

 is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U.S., Japan and other countries.

本機は、米国特許及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコピーの許諾が必要であり、マクロビジョンコピーが特別に許諾する場合は除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

"DTS" and "DTS Digital Surround" are registered trademarks of Digital Theater Systems, Inc.

ご使用の皆様へ 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例：



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



警告



実施

前方不注意による交通事故などを防ぐため、ナビゲーション画面を注視する時間は、必要最小限(1秒以内)としてください。
また、以下のような行為をするときは、必ず安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- テレビやビデオを見る
- 登録や各設定などの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



実施

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



実施

本製品を車載用以外の用途で使用しないでください。



注意



注意

モニターディスプレイの開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてけがをすることがあります。



実施

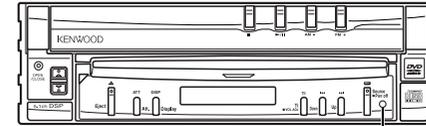
液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。

安全走行のために

走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

正常に動作させるために

取り付け直後やバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押してください。



リセットボタン

異常にお気付きのときは

ご使用中にセットの異常にお気付きのときは、リセットボタンを押してください。
それでも正常な状態に戻らないときは、そのままの状態でお買い上げの販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へお問い合わせください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの再生ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、再生ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

低温時の画面の明るさについて

冬季など本機の温度が下がっている場合、液晶パネルの性質上通常より暗くなります。
本機の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

バッテリー上がりを防ぐために

エンジンをかけないで、ACC ONの位置にして本機を使用しますと、バッテリーが消耗し、バッテリー上がりの原因になります。
エンジンをかけてご使用ください。

モニターの保管について

モニターをオープンした状態で、高温の場所に放置しないでください。
長時間放置されますと正常に動作しなくなる場合があります。

タッチパネルの操作について

タッチパネル動ききの操作は指で行ってください。先のとがった物や硬いもので操作すると、画面に傷が付いたり故障の原因となります。

本機のお手入れについて

操作パネルやモニター部分が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。
硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。
光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間経っても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

使用上のご注意

本機からタッチコントロールできるオーディオユニット (2003年11月現在)

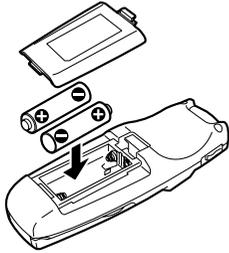
VD-C77、KDC-C520、KDC-C510、KDC-C410、KDC-C406、KDC-C310、KDC-C306、KMD-C30、RJ-480、RD-380、RD-360 (O-Nスイッチが付いているモデルは、Nに設定してください)

本機からタッチコントロールできるナビゲーションユニット

本機のタッチパネルで操作できるナビゲーションユニットは下記の通りです。(2003年11月現在)
HDZ-2500iS、HDZ-2400i、DVZ-2300i、DVZ-2201、DVZ-2200、DVZ-2000

リモコンの電池の入れかた

付属の電池 (単四型2本) を+/-の向きを正しく合わせて入れてください。



リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。

注意



- 電池の向きは正しく合わせてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池を交換するときは、2本同時に交換してください。

この取扱説明書に表記されているアイコンの見かた



本体にあるキーの操作を表しています。



画面上に表示されるボタンにタッチすることを表しています。



リモコンにあるキーやジョイスティックの操作を表しています。



各設定の初期値を表しています。



補足説明や使いかたのアドバイスが書いてあります。

操作規制マークについて

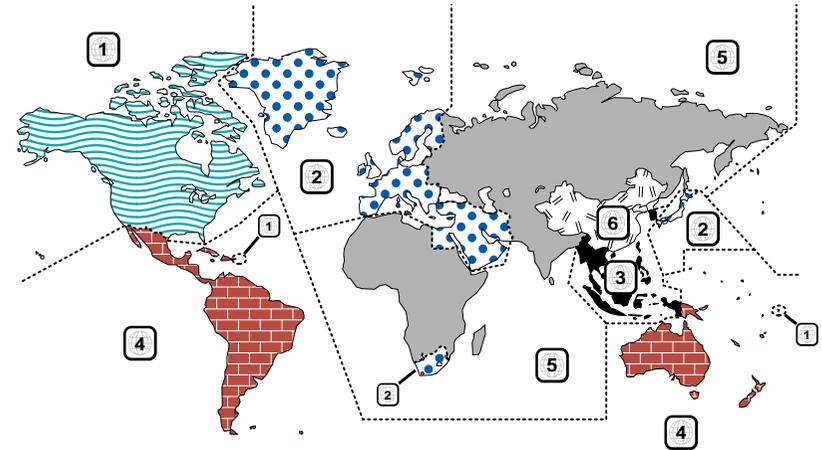
DVDやVCDディスクは、再生箇所により本機でのプレイ操作等規制される場合があります。このようなときは以下のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクの取扱説明書をご覧ください。

禁止マーク



リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号 (国ごとに割り当てられた番号) は「2」 (または2を含むもの) と「ALL」です。DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。



DVDディスクのマーク

記号	内容
	このマーク付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル (角度) で視聴することができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ (4:3) で見た場合、ワイド映像 (16:9) は上下に黒帯の入る (レターボックス) 映像となります。

本機で再生できないディスク

以下のディスクは本機では再生できません。

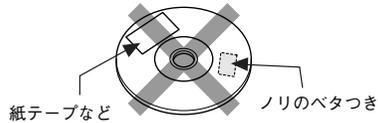
- DVD-ROM/ DVD-RAM
 - HQ-VCD
 - CDV (音声のみ再生可能)
 - CD-G/ CD-EG/ CD-EXTRA (音声のみ再生可能)
 - フォトCD
- また、DVD-R/RW、DVD+R/RWは、DVD-VideoまたはDVD-Audioフォーマットに準じて記録されていない場合も再生できません。

本取扱説明書の操作画面は説明用に作成したものです。実際の画面とは異なります。

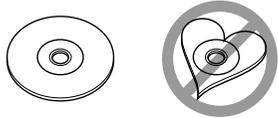
ディスクの取り扱い

使用できないディスク

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。
そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

本機でプレイ可能な音楽CDは  マークの入ったディスクだけです。
前記のマークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

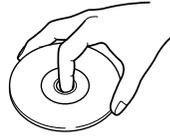
ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作をすることがあります。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）



CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

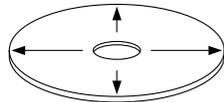
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れてずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

ディスクの保存

直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高くなる場所には置かないでください。
特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

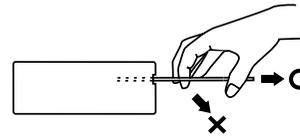
ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

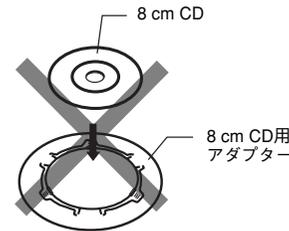


ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

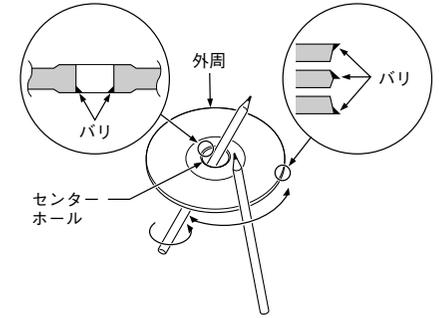


市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。
本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



地上デジタル放送の開始とアナログ放送の終了について

地上デジタルTV放送が、三大広域圏（関東・中京・近畿）では2003年末までに、その他の地域では2006年末までに順次本放送の開始が予定されています。これに伴い、一部の地域では従来のアナログTV放送のチャンネルが順次変更されます。

また、地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。

これにより、次の現象の発生が予想されます。

- プリセットメモリボタンで選局したチャンネルを受信できない。
 - ※ この場合、オートメモリー（28ページ）またはマニュアルメモリー（28ページ）でメモリーしなおしてください。
- 放送局名が正しく表示されない。

なお、地上デジタルTV放送は、本機では受信できません。

チャンネル変更の詳細については、以下のサイトまたは各地域の受信対策センターでご確認ください。

【インターネット】

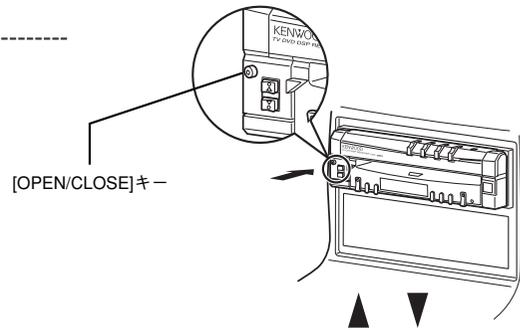
- **地上デジタルテレビジョン放送**
URL=http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html
- **関東総合通信局（放送部放送課）**
URL=<http://www.kanto-bt.go.jp/>
- **東海総合通信局（放送部放送課）**
URL=<http://www.tokai-bt.soume.go.jp/>
- **近畿総合通信局（放送部放送課）**
URL=<http://www.ktab.go.jp/>
- **「アナログ周波数変更の受信対策の開始について」（報道資料）**
URL=http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html
- **ARIB（電波産業会）**
URL=<http://www.arib.or.jp/>
- **JEITA（電子情報産業技術協会）**
URL=http://home.jeita.or.jp/dha/tdb/tdb_top.htm

【受信対策センター】

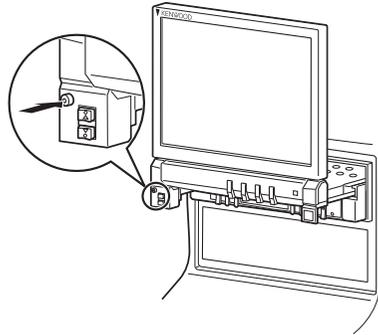
名 称	コールセンター	対応時間
茨城地域受信対策センター	TEL: 0120-771797 FAX: 0120-038268 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 029-835-8267	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
栃木地域受信対策センター	TEL: 0120-401293 FAX: 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
群馬地域受信対策センター	TEL: 0120-357488 FAX: 0120-357886 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 027-210-9381	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
埼玉地域受信対策センター	TEL: 0120-401035 FAX: 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
千葉地域受信対策センター	TEL: 0120-401398 FAX: 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
東京・神奈川地域 受信対策センター	TEL: 0120-401350 FAX: 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
岐阜地域受信対策センター	TEL: 0120-124820 FAX: 0120-124989 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 052-968-7300	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
愛知・三重地域受信対策センター	TEL: 0120-124826 FAX: 0120-124851 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 052-968-7370	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
滋賀・京都地域受信対策センター	TEL: 0120-124826 FAX: 0120-124851 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 052-968-7370	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
大阪・奈良地域受信対策センター	TEL: 0120-623522 FAX: 0120-807404 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 06-6966-7182	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
兵庫地域受信対策センター	TEL: 0120-540700 FAX: 0120-807804 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 06-6966-7180	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
和歌山地域受信対策センター	TEL: 0120-815108 FAX: 0120-548070 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 06-6966-7184	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00
香川地域受信対策センター	TEL: 0120-112064 FAX: 0120-661271 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 087-851-7880	平日 9:00~21:00 土・日・祝祭日 9:00~18:00

モニターの開閉・電源

モニターを出す

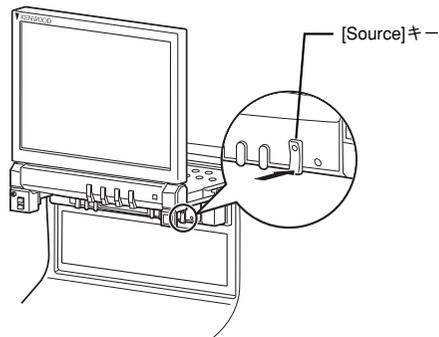


モニターを収納する



電源をオンにする

電源をオフにするときは1秒以上押します。



- モニター部の開閉動作中は、動作部分に触らないでください。指をはさまれるなどしてケガをする場合があります。
- モニター部を手動で開閉しないでください。

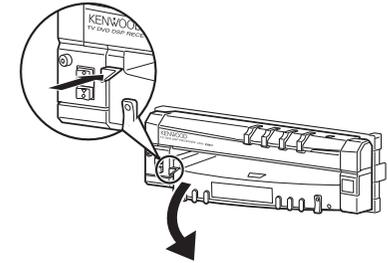
注意



- 車両のイグニッションキーのオン・オフに合わせて、モニターを自動的に収納させることができます。(46ページ)
- モニター部が出てくる途中でシフトレバーなどの障害物に当たったときや、収納中に物を挟んだときなどは、安全機能が働いてモニター部の動作が止まります。このようなときは障害物を取り除いたあと、再度[OPEN/CLOSE]キーを押してください。

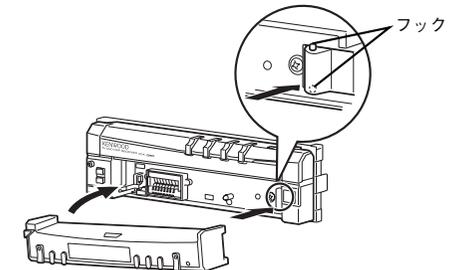
プロテクションパネルの脱着

プロテクションパネルを取り外す



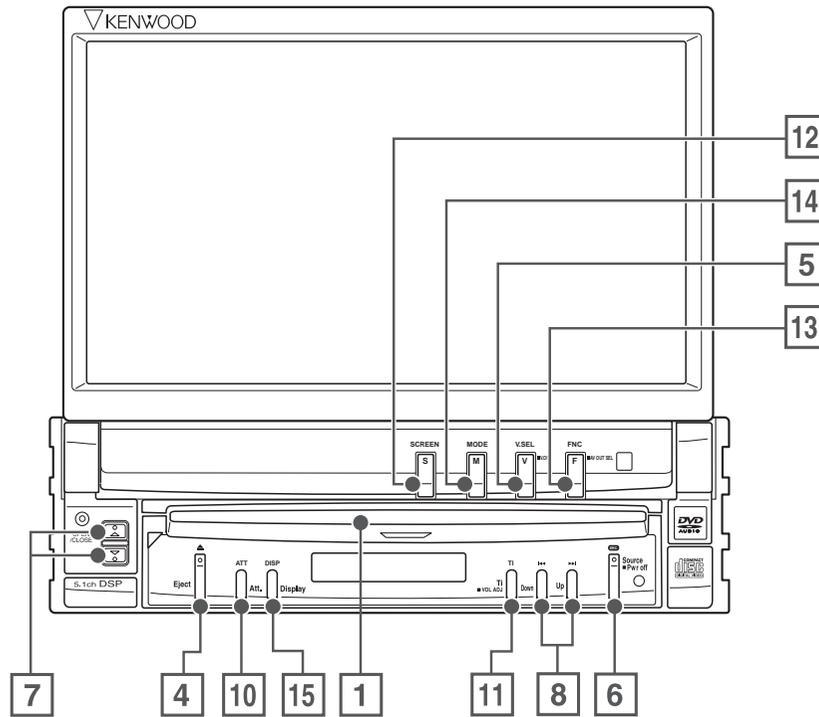
プロテクションパネルを取り付ける

右側のフックにパネルを引っ掛け、カチッと音がするまで右側を押し込んでロックします。そして左側を押し込んでロックします。

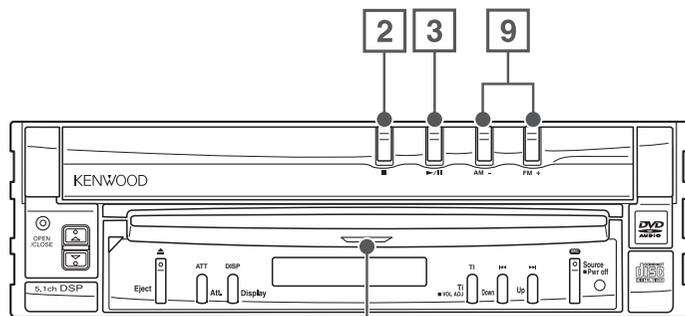


- プロテクションパネルの脱着は、モニター部を収納した状態で行ってください。
- プロテクションパネルを取り外すと、操作ができなくなります。
- プロテクションパネルを取り外している間、盗難防止用警告ランプを点滅させることができます。(59ページ)

■モニターを出しているとき



■モニターを収納しているとき



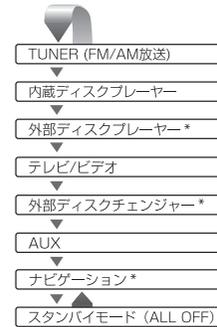
ディスクインジケータ

- 1 ディスクプレイ
[ディスク挿入口]
ディスクを差し込むとプレイが始まります。
ディスクを入れるとディスクインジケータが、緑から赤になります。
- 2 プレリストopp
[■] キー
プレイを停止します。
- 3 プレイ/ポーズ
[▶||]キー
プレイのポーズと再開をします。
- 4 ディスクイジェクト
[Eject] キー
ディスクが出てきます。
- 5 映像ソース切り替え
[V.SEL] キー
押すたびに以下のように切り替わります。



1秒以上押すと映像を消します。
もう一度押すと元の映像を表示します。

- 6 音声ソース切り替え/電源
[Source] キー
押すたびに以下のように切り替わります。



*別売品

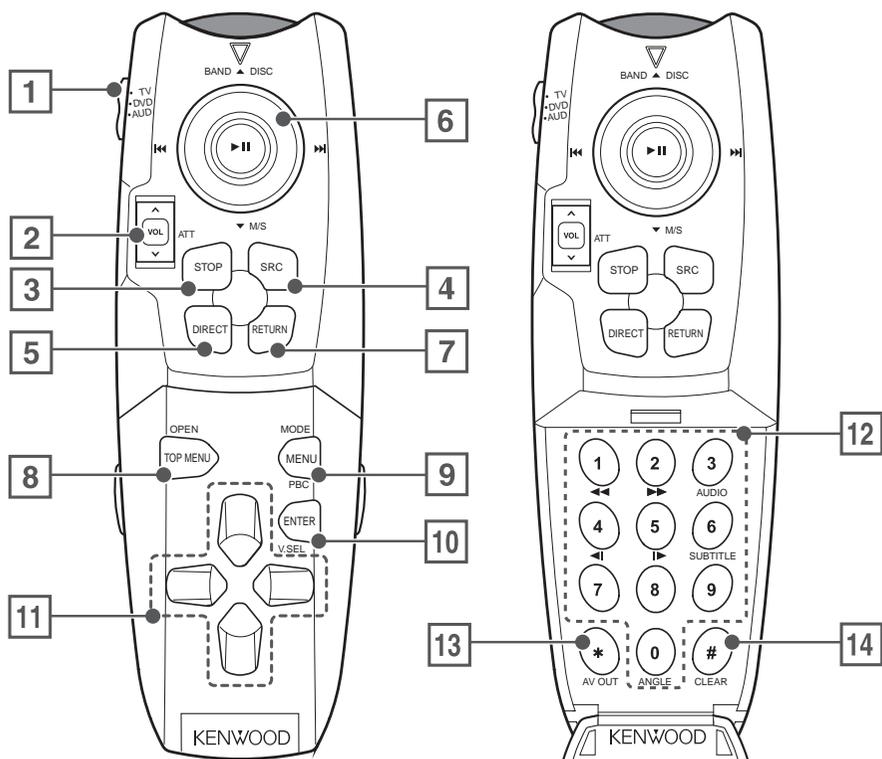
1秒以上押すと電源がオフになります。
もう一度押すと電源がオンになります。

- 7 音量設定
[▲] / [▼] キー

- 8 トラック選択/放送局選択
[Up] / [Down] キー
曲やチャプター、トラック、周波数を選択します。
 - 9 バンド選択/フォルダ選択
[FM] / [AM] キー
[FM] キーを押すとFM1/2バンド、次のフォルダ/ディスクに切り替わります。
[AM] キーを押すとAM1/2バンド、手前のフォルダ/ディスクに切り替わります。
 - 10 アッテネーター
[Att] キー
音量がすばやく小さくなります。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
 - 11 交通情報受信
[TI] キー
交通情報を受信します。放送局は [Up] / [Down] キーで選択します。
もう一度押すと元のソースに戻ります。(34ページ)
 - 12 スクリーン設定
[SCREEN] キー
スクリーン設定/アングル設定画面が表示されます。(46ページ)
 - 13 ファンクション
[FNC] キー
押すたびに以下のように切り替わります。
-
- 1秒以上押すとAV OUT端子から出力されるソースが順に切り替わります。
- 14 スクリーンモード切り替え
[MODE] キー
スクリーンモードが切り替わります。(19ページ)
 - 15 スモールディスプレイ表示切り替え
[Display] キー
スモールディスプレイの表示が切り替わります。(18ページ)

⚠ 本機にディスクが入っているとき（ディスクインジケータが赤色のとき）に、別のディスクを入れないでください。ディスクに傷が付いたり、故障の原因となります。

MEMO ナビゲーションシステム以外の映像はパーキングブレーキをかけないと見られません。



① リモコンモード設定スイッチ

使用するソースにより以下のように切り替えます。

TV: TVソース

DVD: 本機内蔵のDVD/VCD/CD/MP3/WMAプレーヤーソース

AUD: TUNERソースや本機に接続したディスクチェンジャーソースなど

② 音量設定ツマミ

音量を調整します。

押すと素早く音を小さくできます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

③ [DISC]

内蔵ディスクプレーヤーのプレイをストップします。

④ 押すたびに音声ソースを切り替えます。

⑤ ダイレクトサーチモードに入ります。
(「ダイレクトサーチ」25/29/34/43ページ)

⑥ ジョイスティック

[DISC]

左右: チャプター/トラック/曲の選択をします。

上下: フォルダ/ディスクの選択をします。

押す: プレイ/ポーズをします。

[TV]

左右: チャンネルを選択します。

上: TV1、TV2、VIDEO1、VIDEO2に切り替えます。

下: 音声を主音声と副音声とに切り替えます。

押す: シークモードが切り替わります。
(「シークモード」28ページ)

[TUNER]

左右: 放送局を選択します。

上: FM1、FM2バンドに切り替わります。

下: AM1、AM2バンドに切り替わります。

押す: シークモードが切り替わります。
(「シークモード」32ページ)

⑦ [DVD]

DVDディスクメニューを操作中に、前の画面に戻ります。

⑧ [DVD]

DVDディスクメニューのトップメニューを表示します。

[DVD以外] (① "TV"、"AUD"時)

モニターの出納をします。

⑨ [DVD]

DVDディスクメニューを表示します。

[VCD]

PBC (プレイバックコントロール) 機能をオン・オフします。

[DVD/VCD以外] (① "TV"、"AUD"時)

スクリーンモードを切り替えます。(19ページ)

⑩ [DVD] [VCD]

DVD/VCDディスクメニューの操作中に、選択中の項目を決定します。

[DVD/VCD以外] (① "TV"、"AUD"時)

押すたびに以下のように切り替わります。



⑪ [DVD]

DVDディスクメニューの操作中に、項目を選択します。

⑫ [TV] [TUNER]

① - ⑥: メモリーしてある放送局を呼び出します。

[DVD]

- ① 早戻しをします。押すたびに速度が変わります。
- ② 早送りをします。押すたびに速度が変わります。
- ③ 音声言語を切り替えます。
- ④ スロー戻しをします。
- ⑤ スロー送りをします。
- ⑥ 字幕言語を切り替えます。
- ⑦ アングルを切り替えます。

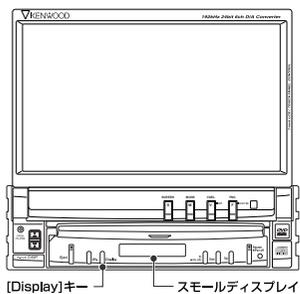
⑬ AV OUTPUT端子から出力する映像ソースを切り替えます。

⑭ 内蔵のディスクプレーヤーで、ダイレクトサーチ中に、入力した数値を消去します。

[DVD]	: DVDプレイ中の操作
[VCD]	: VCDプレイ中の操作
[DISC]	: DVD、VCD、CD、MP3/WMA、MDプレイ中の操作
[DVD以外]	: DVDプレイ中以外の操作
[DVD/VCD以外]	: DVD、VCDプレイ中以外の操作
[TV]	: TVソース中の操作
[TUNER]	: FM/AM放送ソース中の操作

スモールディスプレイ切り替え

Displayキーを押すたびに以下のようにスモールディスプレイの表示が切り替わります。



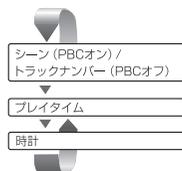
[DVDビデオ]



[TUNER]



[VCD]



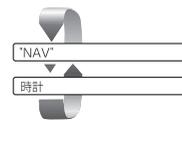
[ディスクチェンジャー]



[DVDオーディオ/CD]



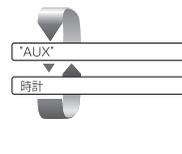
[ナビゲーション]



[MP3/WMA]



[AUX]



[TV/ビデオ]

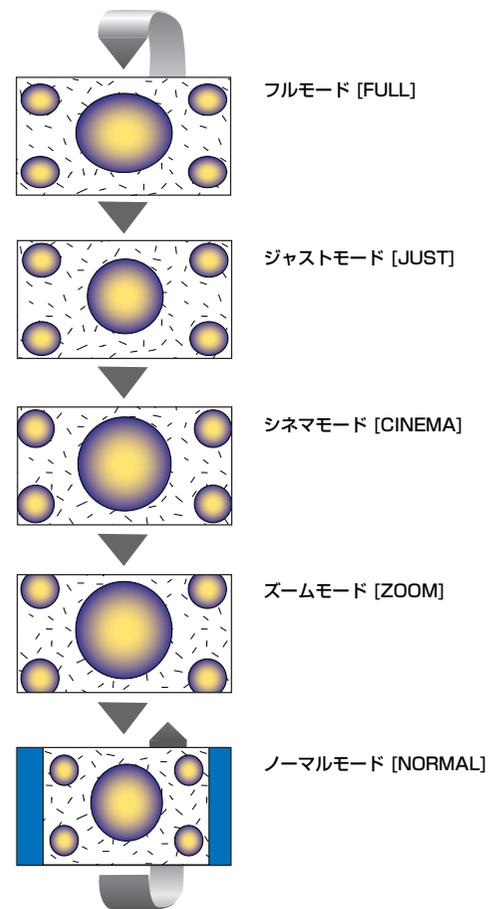
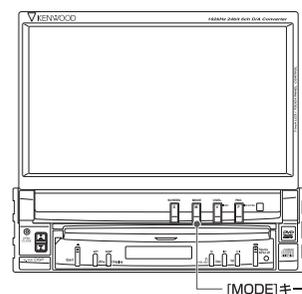


[ALL OFF]



スクリーンモード切り替え

MODEキーを押すたびに以下のようにモニターのスクリンモードが切り替わります。



- 表示がメニューやイージーコントロール画面、またはナビゲーションのときは自動的にフルモードとなり切り替えはできません。
- スクリーンモードはDVD/VCD、テレビ、ビデオの各映像ごとに設定できます。

DVDビデオ/DVDオーディオ/ビデオCDプレイコントロール

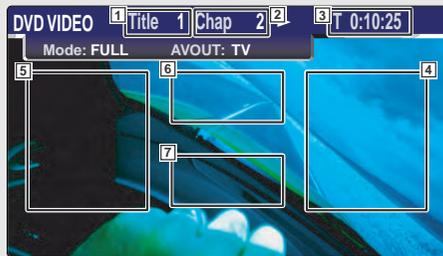
DVDビデオ (DVD-V) /DVDオーディオ (DVD-A) /ビデオCD (VCD) のプレイ中は、

DVD/VCD再生画面を表示する

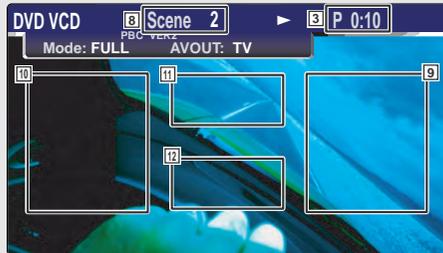
DVD/VCDの映像表示中にいろいろな操作ができます。



DVD再生画面



VCD再生画面



- 1 タイトルナンバー表示 (DVD-V)
グループナンバー表示 (DVD-A)
- 2 チャプターナンバー表示 (DVD-V)
トラックナンバー表示 (DVD-A)
- 3 プレイタイム表示
- 4 フォワードチャプターサーチエリア (DVD-V)
次のチャプターを選びます。
フォワードトラックサーチエリア (DVD-A)
次のトラックを選びます。
- 5 バックワードチャプターサーチエリア (DVD-V)
前のチャプターを選びます。
バックワードトラックサーチエリア (DVD-A)
前のトラックを選びます。
- 6 DVDディスクメニューコントロール表示ボタン
エリア
- 7 情報表示ボタンエリア

- 8 シーン/トラックナンバー表示 (VCD)
- 9 フォワードシーン/トラックサーチエリア (VCD)
次のシーン (PBCオン時) /トラック (PBCオフ時)
を選びます。
- 10 バックワードシーン/トラックサーチエリア (VCD)
前のシーン (PBCオン時) /トラック (PBCオフ時)
を選びます。
- 11 Zoom Control表示ボタンエリア
Zoom Control (25ページ) を表示します。
- 12 情報表示ボタンエリア

- MEMO ● DVD/VCDのプレイのしかたや、DVD-V/VCD映像の選択のしかた、本体キーによる操作は、「VDX-09M Basic operation」(14ページ)を参照してください。
- 情報表示は約5秒後に自動的に消えます。また、情報内容が変更になったときに、自動的に表示させることもできます。(62ページ)

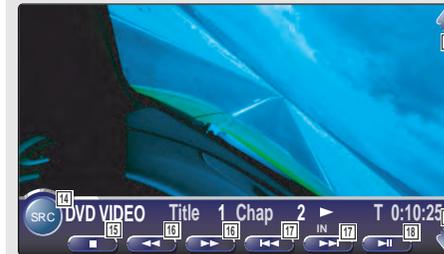
いろいろなコントロール画面が表示できます。

イーजीコントロールパネルを表示する

DVD/VCDの映像にコントロールパネルをフローティング表示します。



イーजीコントロールパネル表示



- 13 音量を調整します。
- 14 ソースを切り替えます。
- 15 プレイをストップします。
- 16 早戻し/早送りをします。
- 17 チャプターサーチ (DVD-V)
チャプターを選びます。
トラックサーチ (DVD-A)
トラックを選びます。
シーン/トラックサーチ (VCD)
シーン (PBCオン時) /トラック (PBCオフ時) を
選びます。
- 18 プレイ/ポーズをします。

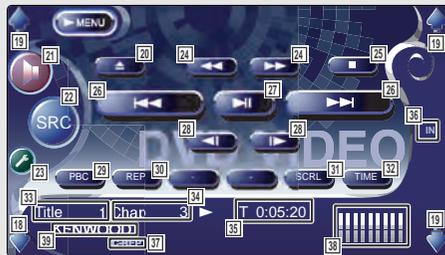
MEMO イーजीコントロールパネルは、映像表示エリアの中央部をタッチすると消すことができます。

DVD-V/DVD-A/VCD コントロール画面を表示する

DVD/VCDをいろいろな機能を使ってプレイします。



DVD/VCDコントロール画面



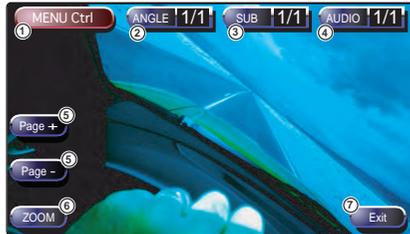
- 19 音量を調整します。
- 20 内蔵ディスクプレーヤーからディスクをイジェクトします。
- 21 サウンドエフェクトメニューを表示します。(68ページ)
- 22 ソースを切り替えます。
1秒以上タッチするとソースセレクト画面を表示します。(44ページ)
- 23 セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- 24 早送り/早戻しをします。
- 25 プレイがストップします。
2回押すと、次回プレイ時はディスクの最初からプレイします。
- 26 チャプター/シーン/トラックを選びます。
DVD-Vをポーズ中にタッチするとコマ送りができます。
- 27 プレイ/ポーズをします。
- 28 スロー送り/スロー戻しをします。(DVD-V、DVD-A)
- 29 VCDのPBC機能のオン・オフ設定をします。(VCD Ver 2.0)
- 30 リピートプレイ(繰り返しプレイ)をします。
DVD-V: 押すたびにタイトルリピート、チャプターリピート、リピートオフの順で切り替わります。
DVD-A: 押すたびにグループリピート、トラックリピート、リピートオフの順で切り替わります。
VCD: 押すたびにトラックリピート、リピートオフに切り替わります。(PBCがオフのときに使用できます)
- 31 テキスト表示をスクロールします。
- 32 プレイタイム表示を次の順で切り替えます。
DVD-V: タイトル、チャプター、タイトル残り
DVD-A: トラック、グループ、グループ残り
VCD: トラック、ディスク、ディスク残り
(PBC機能オフ中のみ)
- 33 **タイトルナンバー表示 (DVD-V)**
グループナンバー表示 (DVD-A)
- 34 **チャプター/シーン/トラックナンバー表示**
- 35 **プレイタイム表示**
- 36 ディスクが挿入されると表示されます。
- 37 **機能インジケータ**
- 38 **時計・レベルメーター表示**
タッチすると時計1、レベルメーター1、時計2、レベルメーター2の順で表示が切り替わります。
- 39 **ボリュームラベル表示**

DVDディスクメニュー

DVDに記録されているディスクメニューの設定をします。

1 ディスクメニューコントロール画面を表示する

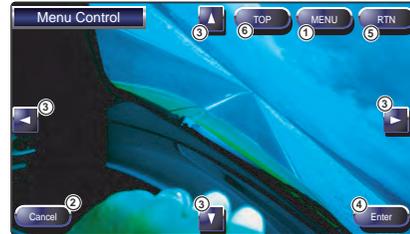
 **6** DVDディスクメニューコントロール表示ボタンエリア (P.20)



- ① メニューコントロールを表示します。
- ② 映像のアングルが切り替わります。
(本編再生中のみ)
- ③ 字幕の言語が切り替わります。
(本編プレイ中のみ)
- ④ 音声の言語が切り替わります。
(本編プレイ中のみ)
- ⑤ 静止画が切り替わります。
(DVDオーディオ再生中のみ)
- ⑥ ズームコントロール画面を表示します。
- ⑦ ディスクメニューコントロールを消します。

2 ディスクメニューの設定をする

ディスクメニュー



- ① メニューを表示します。(DVD-Vプレイ中のみ)
- ② ディスクメニューコントロール画面に戻ります。
- ③ メニュー項目を選びます。
- ④ メニューを確認します。
- ⑤ 前のメニュー画面に戻ります。
- ⑥ トップメニューを表示します。

ズームコントロール



- ① 押すたびにズーム倍率が4段階(2倍、3倍、4倍、off)に切り替わります。
- ② タッチした方向へ映像をスクロールします。
- ③ ディスクメニューコントロール画面に戻ります。

VCDズームコントロール

VCD画面を拡大して表示します。

1 Zoom Control画面を表示する

 **11** Zoom Control表示ボタンエリア (P.20)



- ① 押すたびにズーム倍率が4段階(2倍、3倍、4倍、off)に切り替わります。
- ② タッチした方向へ映像をスクロールします。
- ③ Zoom Controlを消します。

情報表示

DVD/VCDやAVの情報を表示します。

 **7** **12** 情報表示ボタンエリア (P.20)

5秒間情報を表示します。

ダイレクトサーチ

DVD/VCDのチャプター/シーン/トラックのナンバーを入力してサーチします。

1 ダイレクトサーチモードに入る



押すたびに以下の項目のダイレクトサーチができます。
 DVD-V : タイトル、チャプター、時間、ダイレクトナンバー
 DVD-A : グループ、トラック、時間、ダイレクトナンバー
 VCD (PBCオン) : シーン、ダイレクトナンバー
 (PBCオフ) : トラック、時間
 なお、ディスクによっては、できない項目があります。

2 番号・時間を入力する



VCDをプレイ中は、PBC画面No. (PBCオン時) またはトラックNo. (PBCオフ時) を入力します。

 入力をまちがえたときは **#** (CLEAR) を押すと消去できます。

3 サーチする



 10秒間操作しないと、自動的に終了します。

TVコントロール

TVソース中は、いろいろなコントロール画面が表示できます。

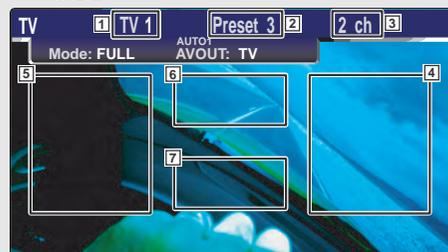
TV映像画面を表示する

TV映像表示中にいろいろな操作ができます。



テレビ映像を
選択する

TV映像画面



イーザーコントロールパネルを表示する

TV映像にコントロールパネルをフローティング表示します。



イーザーコントロールパネル表示



- 1 TVバンド/ビデオナンバー表示
 - 2 メモリーナンバー表示
 - 3 チャンネルナンバー表示
 - 4 チャンネルアップエリア
チャンネルが上がります。
 - 5 チャンネルダウンエリア
チャンネルが下がります。
 - 6 バンド/ビデオ切り替えエリア
TV1、TV2、ビデオ1、ビデオ2の順に切り替えます。
 - 7 情報表示ボタンエリア
- SEEK MEMO
- TV映像の選択のしかたや本体キーによる操作は、「VDX-09M Basic operation」(14ページ)を参照してください。
 - 情報表示は約5秒後に自動的に消えます。また、情報内容が変更になったときに、自動的に表示させることもできます。(62ページ)

- 8 音量を調整します。
- 9 ソースを切り替えます。
- 10 ビデオ (Video1/2) に切り替えます。
- 11 TV (TV1/2) のバンドを切り替えます。
- 12 チャンネルを選びます。
- 13 シークモードが切り替わります。
(「シークモード」28ページ)

SEEK MEMO

コントロールパネルは、映像表示エリアの中央部をタッチすると消すことができます。

TVコントロール画面を表示する

放送局をいろいろな機能を使って選択します。



TVコントロール画面



TVメニュー画面を表示する

いろいろな機能を使って設定ができます。



TVメニュー画面



- 14 音量を調整します。
- 15 TVメニュー画面を表示します。
- 16 サウンドエフェクトメニューを表示します。
(68ページ)
- 17 ソースを切り替えます。
1秒以上タッチするとソースセレクト画面を表示します。(44ページ)
- 18 セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- 19 ビデオ1/2に切り替えます。
- 20 TV1/2に切り替えます。
- 21 チャンネルを選びます。
チャンネルの切り替わり方は「シークモード」(28ページ)で設定できます。
- 22 1 - 6 ボタンとファンクションボタンとに切り替えます。
- 23 オートメモリーモードになります。
(「オートメモリー」28ページ)
- 24 シークモードが切り替わります。
(「シークモード」28ページ)
- 25 テレビの音声を主音声と副音声とに切り替えます。
- 26 1 - 6 ボタンが表示されているときは、メモリーされている放送局を呼び出します。
放送局のメモリーのしかたは「オートメモリー」(28ページ)または「マニュアルメモリー」(28ページ)を参照してください。
- 27 時計・レベルメーター表示
タッチすると時計1、レベルメーター1、時計2、レベルメーター2の順で表示が切り替わります。
- 28 シークモードインジケター
- 29 いろいろな機能メニューを選択します。
- 30 TVコントロール画面に戻ります。

シークモード

放送局の選択方法を設定します。



SEEK が表示されていないときは、Next をタッチします。
タッチするたびに以下のように切り替わります。



AUTO 1 受信状態の良い放送局を自動的に見つけます。

AUTO 2 メモリーされている放送局を順番に受信します。

MANUAL 1チャンネルずつ変わります。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的にメモリーします。

1 メモリーするバンドを選択する



2 オートメモリーモードにする



AME が表示されていないときは、Next をタッチします。

3 オートメモリーを開始する



または をタッチします。
6局メモリーするか、1周するとオートメモリーは終了します。

10秒間操作しないと、自動的に終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 メモリーする放送局を選択する



1 メモリーする



1 - 6 が表示されていないときは、Next をタッチします。
メモリーナンバーが表示されるまでタッチし続けます。

プリセットセレクト

メモリーしている放送局をリスト表示して受信します。

1 TVメニューを表示する



1 Preset Selectメニューを表示する



- ① 表示している放送局を受信します。
ステーション名前がセットされている放送局はステーション名前が表示されます。
- ② 表示している放送局リストのバンドを切り替えます。
- ③ バンド表示
- ④ TVメニュー画面に戻ります。

ステーション名前セット

放送局に名前を付けます。

1 名前を付ける放送局を受信する



2 TVメニューを表示する



3 Name Setモードに入る



4 名前を入力する

文字の入力のしかたは「文字の入力」(45ページ)を参照してください。

5 Name Setモードを終了する



- 登録できる局数は20局です。
- ステーション名前セットは、パーキングブレーキをかけないと操作できません。

ダイレクトサーチ

放送局のチャンネルを入力して受信します。

1 ダイレクトサーチモードに入る



2 チャンネル数を入力する



入力が終わると受信を開始します。
例：6チャンネルを受信する場合
0 6

10秒間操作しないと、自動的に終了します。

TUNERコントロール

TUNERソース中は、いろいろなコントロール画面が表示できます。

イージーコントロールパネルを表示する

選択中の映像にTUNERのコントロールパネルをフローティング表示します。



イージーコントロールパネル表示



- ① 音量を調整します。
- ② ソースを切り替えます。
- ③ バンド (AM1/2、FM1/2) を切り替えます。
- ④ 放送局を選びます。
- ⑤ シークモードが切り替わります。
(「シークモード」32ページ)

- SEEK MEMO**
- 本体キーによる操作は、「VDX-09M Basic operation」(14ページ)を参照してください。
 - イージーコントロールパネルは、映像表示エリアの中央部をタッチすると消すことができます。

TUNERコントロール画面を表示する

放送局をいろいろな機能を使って選択します。



TUNERコントロール画面



TUNERメニュー画面を表示する

いろいろな機能を使って設定ができます。



TUNERメニュー画面



- ⑥ 音量を調整します。
- ⑦ TUNERメニュー画面を表示します。
- ⑧ サウンドエフェクトメニューを表示します。
(68ページ)
- ⑨ ソースを切り替えます。
1秒以上タッチするとソースセレクト画面を表示します。(44ページ)
- ⑩ セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- ⑪ FM1/2バンドに切り替えます。
- ⑫ AM1/2バンドに切り替えます。
- ⑬ 放送局を選びます。
周波数の切り替わり方は「シークモード」で設定できます。
- ⑭ **1** - **6** ボタンとファンクションボタンとに切り替えます。
- ⑮ モノラル受信をします。(FM放送受信中のみ)
- ⑯ オートメモリーモードになります。
(「オートメモリー」32ページ)
- ⑰ シークモードが切り替わります。
(「シークモード」32ページ)
- ⑱ **1** - **6** ボタンが表示されているときは、メモリーされている放送局を呼び出します。
放送局のメモリーのしかたは「オートメモリー」(32ページ)または「マニュアルメモリー」(32ページ)を参照してください。
- ⑲ 時計・レベルメーター表示
タッチすると時計1、レベルメーター1、時計2、レベルメーター2の順で表示が切り替わります。
- ⑳ シークモードインジケーター
- ㉑ いろいろな機能メニューを選択します。
- ㉒ TUNERコントロール画面に戻ります。

シークモード

放送局の選択方法を設定します。



SEEK が表示されていないときは、Next をタッチします。
タッチするたびに以下のように切り替わります。



AUTO 1 受信状態の良い放送局を自動的に見つけます。

AUTO 2 メモリーされている放送局を順番に受信します。

MANUAL 1チャンネルずつ変わります。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的にメモリーします。

1 メモリーするバンドを選択する



2 オートメモリーモードにする



AME が表示されていないときは、Next をタッチします。

3 オートメモリーを開始する



SEEK または FM をタッチします。
6局メモリーするか、1周するとオートメモリーは終了します。

SEEK MEMO 10秒間操作しないと、自動的に終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 メモリーする放送局を選ぶ



2 メモリーする



1 - 6 が表示されていないときは、Next をタッチします。
メモリーナンバーが表示されるまでタッチし続けます。

プリセットセレクト

メモリーしている放送局をリスト表示して受信します。

1 TUNERメニューを表示する



2 Preset Selectメニューを表示する



- ① 表示している放送局を受信します。
ステーション名前がセットされている放送局はステーション名前が表示されます。
- ② 表示している放送局リストのバンドを切り替えます。
- ③ バンド表示
- ④ TUNERメニュー画面に戻ります。

ステーション名前セット

放送局に名前を付けます。

1 名前を付ける放送局を受信する



2 TUNERメニューを表示する



3 Name Setモードに入る



4 名前を入力する

文字の入力のしかたは「文字の入力」(45ページ)を参照してください。

5 Name Setモードを終了する



- MEMO ● 登録できる局数は30局です。
- MEMO ● 交通情報を受信中も、同様の操作で交通情報局に名前を付けることができます。

ダイレクトサーチ

放送局の周波数を入力して受信します。

1 バンドを選択する



2 ダイレクトサーチモードに入る



3 周波数を入力する



入力が終わると受信を開始します。

例：FM76.1MHzを受信する場合

⑦ ⑥ ①

例：AM522kHzを受信する場合

⑤ ② ③

 10秒間操作しないと、自動的に終了します。

交通情報

交通情報放送局をワンタッチで受信します。

1 交通情報を受信する



Traffic Information 画面



- ① 放送局を選択します。
- ② 音量を調整します。
- ③ Traffic Informationメニュー画面を表示します。
Traffic Informationメニューでは交通情報局に名前を付けることができます。(「ステーションネームセット」33ページ)
- ④ 元のコントロール画面に戻ります。

 交通情報を受信中は「SFC」(70ページ)と「Equalizer」(72ページ)の効果が一時的に解除されます。また、これらの設定もできません。

2 放送局を選択する



交通情報中の音量をメモリーする

1 音量を調整する



交通情報を受信中に、設定したい音量にします。

2 メモリーする



ボリュームが表示されるまでタッチし続けます。
次回から交通情報を受信すると、自動的にこのメモリーした音量になります。

CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャープレイコントロール

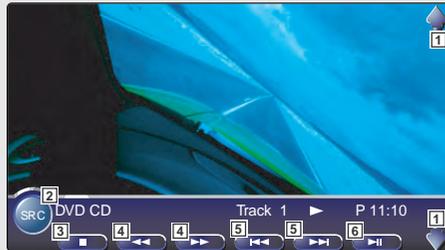
CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーのプレイ中は、いろいろなコントロール画面が表示されます。

イーजीコントロールパネルを表示する

選択中の映像にCD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーのプレイのコントロールパネルをフローティング表示します。



イーजीコントロールパネル表示
CDプレイ中



MP3/WMAプレイ中



ディスクチェンジャープレイ中



- 1 音量を調整します。
- 2 ソースを切り替えます。
- 3 内蔵ディスクプレーヤーのプレイをストップします。
- 4 早戻し/早送りをします。
- 5 曲を選択します。
- 6 プレイ/ポーズをします。
- 7 フォルダを選択します。
- 8 ディスクを選択します。

- CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーのプレイのしかたや本体キーによる操作は、「VDX-09M Basic operation」(14ページ)を参照してください。
- イージーコントロールパネルは、映像表示エリアの中央部をタッチすると消すことができます。

表示できます。

CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーコントロール画面を表示する

CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーをいろいろな機能を使ってプレイします。



CDコントロール画面



CDプレイ中

- 9 音量を調整します。
- 10 CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーメニュー画面を表示します。
- 11 サウンドエフェクトメニューを表示します。(68ページ)
- 12 ソースを切り替えます。
1秒以上タッチするとソースセレクト画面を表示します。(44ページ)
- 13 セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- 14 内蔵ディスクプレーヤーからディスクをイジェクトします。
- 15 早送り/早戻しをします。
- 16 トラックを選びます。
- 17 プレイ/ポーズをします。
- 18 スキャンプレイ(各曲の最初の部分を次々にプレイ)のスタート・ストップをします。
- 19 リピートプレイ(現在のトラックを繰り返しプレイ)をします。
- 20 ランダムプレイ(曲を順不同でプレイ)のスタート・ストップをします。
- 21 テキスト表示をディスクネーム(「ディスクネームセット」41ページ)、ディスクテキスト、トラックテキストに切り替えます。
- 22 テキスト表示をスクロールします。
- 23 プレイタイム表示をトラック、ディスク、ディスク残り時間表示に切り替えます。
- 24 トラックナンバー表示
- 25 プレイタイム表示
- 26 ディスクが挿入されると表示されます。
- 27 内蔵ディスクプレーヤーのプレイをストップします。
2回押すと、次回プレイ時はディスクの最初からプレイします。
- 28 時計・レベルメーター表示
タッチすると時計1、レベルメーター1、時計2、レベルメーター2の順で表示が切り替わります。
- 29 機能インジケター

MP3/WMAコントロール画面



MP3/WMAプレイ中

- 30 早送りをします。
- 31 プレイをストップします。
2回押すと、次回プレイ時はディスクの最初からプレイします。
- 32 曲を選びます。
- 33 プレイ/ポーズをします。
- 34 フォルダを選びます。
- 35 スキャンプレイ（各曲の最初の部分を次々にプレイ）のスタート・ストップをします。
- 36 リピートプレイ（現在の曲を繰り返しプレイ）をします。
- 37 ランダムプレイ（現在のフォルダ内の曲を順不同でプレイ）のスタート・ストップをします。
- 38 テキスト表示をフォルダ名、ファイル名、タイトル名（ID3/WMA Tag）、アーティスト名（ID3/WMA Tag）、アルバム名（ID3 Tag）に切り替えます。
- 39 テキスト表示をスクロールします。
- 40 ボタン表示を切り替えます。
- 41 フォルダリピートプレイ（現在のフォルダの曲を繰り返しプレイ）をします。
- 42 **フォルダ・ファイルナンバー表示**
- 43 **プレイタイム表示**
- 44 ディスクが挿入されると表示されます。
- 45 ディスクをイジェクトします。
- 46 **時計・レベルメーター表示**
タッチすると時計1、レベルメーター1、時計2、レベルメーター2の順で表示が切り替わります。
- 47 **機能インジケータ**

ディスクチェンジャーコントロール画面



ディスクチェンジャーにてプレイ中

- 48 トラックを選びます。
タッチし続けると、早送り、早戻しをします。
- 49 ディスクを選びます。
- 50 プレイ/ポーズをします。
- 51 スキャンプレイ（ディスクの各曲の最初の部分を次々にプレイ）のスタート・ストップをします。
- 52 リピートプレイ（現在のトラックを繰り返しプレイ）をします。
- 53 ランダムプレイ（ディスクの曲を順不同でプレイ）のスタート・ストップをします。
- 54 ディスクリピートプレイ（現在のディスクを繰り返しプレイ）をします。
- 55 マガジンランダムプレイ（ディスクチェンジャー内の曲を順不同でプレイ）のスタート・ストップをします。
- 56 ボタン表示を切り替えます。
- 57 テキスト表示をディスク名（「ディスク名セット」41ページ）、ディスクテキスト、トラックテキストに切り替えます。
- 58 テキスト表示をスクロールします。
- 59 プレイタイム表示をトラック、ディスク、ディスク残り時間表示に切り替えます。
- 60 **トラックナンバー表示**
- 61 **ディスクナンバー表示**
- 62 **プレイタイム表示**
- 63 **時計・レベルメーター表示**
タッチすると時計1、レベルメーター1、時計2、レベルメーター2の順で表示が切り替わります。
- 64 **機能インジケータ**

CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーメニュー画面を表示する

いろいろな機能を使って設定ができます。



CDメニュー画面



⑧ いろいろな機能メニューを選択します。

⑧ CD/MP3/WMA/ディスクチェンジャーコントロール画面に戻ります。

MEMO 使用できる機能はソースによって異なります。

ディスクネームセット

CDに名前を付けます。

1 名前を付けるCDをプレイする



3 Name Setモードに入る



MEMO プレイしているディスクによって「Name Set」の位置は異なります。

4 名前を入力する

文字の入力のしかたは「文字の入力」(45ページ)を参照してください。

5 Name Setモードを終了する



- MEMO ● MD/MP3/WMAディスクにディスクネームは付けられません。
 - 登録できる枚数は100枚です。
- なお、本機のディスクネームセット機能はディスクチェンジャーなどに内蔵されている記憶機能を使うのではなく、本機に内蔵の記憶機能を使用します。このため接続している機器の記憶機能にかかわらず、すべての合計で100枚までディスクネームをセットできます。

フォルダセレクト (MP3/WMAプレイ時)

MP3/WMAのディスク内のフォルダをリスト表示して素早く検索します。

1 MP3/WMAメニュー画面を表示する



2 フォルダセレクトを開始する



- ① ルートディレクトリに戻ります。
- ② 一階層上を表示します。
- ③ 直下のディレクトリにフォルダがあり、ファイルがないフォルダの表示。タッチするとそのフォルダが開きます。
- ④ 直下のディレクトリにファイルがあり、フォルダがないフォルダの表示。タッチするとそのフォルダが開きます。
- ⑤ 直下のディレクトリにファイルとフォルダ両方があるフォルダの表示。タッチするとそのフォルダが開きます。
- ⑥ 下の階層にはファイルもフォルダもないフォルダの表示。
- ⑦ MP3/WMAファイルの表示。タッチするとその曲からプレイします。
- ⑧ 選択中のフォルダのプレイをします。
- ⑨ リストをスクロールします。

3 曲を選択する



聴きたい曲を表示させて、ファイル表示にタッチします。

ID3/WMA TAG表示 (MP3/WMAプレイ時)

MP3/WMAファイルに記録されているID3/WMA TAGの情報をリスト表示します。

1 MP3/WMAメニュー画面を表示する



2 ID3/WMA TAGを表示する



① リストをスクロールします。

DISC SELECT (ディスクチェンジャーにてプレイ時)

ディスクチェンジャーにセットしてあるディスクをリスト表示して、プレイするディスクを素早く選択します。

1 ディスクチェンジャーメニューを表示する



2 DISC SELECTメニューを表示する



- ① 表示しているディスクをプレイします。
- ② リストの表示をディスクネームとディスクテキストに切り替えます。
- ③ リストをスクロールします。
(6枚以下のディスクチェンジャーを使用時は表示されません)

3 聴きたいディスクを選択する



聴きたいディスク表示にタッチします。

ダイレクトサーチ

ディスクや曲のナンバーを入力してサーチします。

内蔵ディスクプレーヤーでプレイしているとき

1 ダイレクトサーチモードに入る



押すたびに以下の項目のダイレクトサーチができます。

CD : トラックナンバー、ディスク総プレイ時間
MP3/WMA : フォルダ、ファイル

2 ディスク・トラックナンバーを入力する



3 サーチする

曲をサーチする場合



外部ディスクプレーヤー、ディスクチェンジャーでプレイしているとき

1 ディスク・トラックナンバーを入力する



2 サーチする

曲をサーチする場合



ディスクをサーチする場合



10秒間操作しないと、自動的に終了します。

ソースセレクト

ソースセレクト

聴きたいソースを素早く選択します。

コントロール画面を表示する



コントロール画面が表示されるまで数回押します。

コントロール画面



ソースセレクト画面を表示する



ソースセレクト画面が表示されるまでタッチし続けます。

ソースセレクト画面



どのソースのコントロール画面でもソースセレクト画面を表示できます。

- 1 音量を調整します。
- 2 ソースを選択します。
- 3 元のコントロール画面に戻ります。

文字の入力

文字入力画面の使いかた

ディスクネームセットなどでは、次の画面が表示され文字が入力できます。

文字入力画面



- ① カーソルを移動します。
- ② スペース（空白）を入力します。
文字を消したい場合は、カーソルを合わせてこのボタンにタッチします。
- ③ それぞれの文字を入力します。
- ④ それぞれの文字の入力用画面になります。
- ⑤ 文字ボタン表示をスクロールします。
- ⑥ 文字入力を終了して元の画面に戻ります。

文字はパーキングブレーキをかけないと入力できません。

漢字の入力

漢字を入力します。

- 1 漢字入力モードにする



- 2 漢字に読みを入力する



読みは音読みをひらがなで入力します。

- 3 漢字を選択する



入力する漢字にタッチします。

希望する漢字が表示されていないときは、 にタッチしてリストをスクロールさせます。
 にタッチすると手順2に戻ります。

モニター部と画質の調整

モニター部と画質の調整

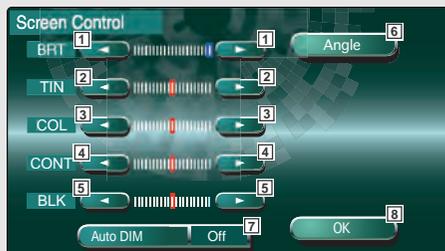
モニターの画質の調整や位置などの設定をします。

Screen Control画面を表示する

画質の調整をします。



Screen Control画面



- 1 明るさ調整
オートディマー設定を"On"にしているときは表示されません。
- 2 色合い調整
TV、ビデオ画面のときに表示されます。
- 3 色の濃さ調整
TV、ビデオ画面のときに表示されます。
- 4 コントラスト調整
- 5 黒レベル調整
- 6 モニター位置調整画面を表示します。
〔Angle Control画面を表示する〕46ページ)
- 7 オートディマー設定
"On"に設定すると、周囲が暗くなったときは自動的にディスプレイが暗くなります。
- 8 元の画面に戻ります。

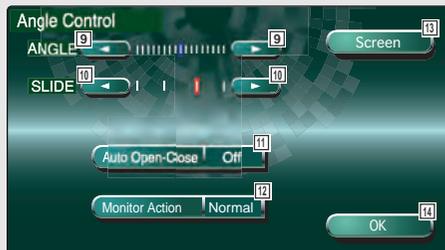
パーキングブレーキをかけないとScreen Control画面は表示されません。

Angle Control画面を表示する

モニターの位置や動きを設定します。



Angle Control画面



- 9 モニター角度調整
- 10 モニター前後位置調整
- 11 モニター開閉設定
"On"に設定すると車両のイグニッションキーのオン・オフに合わせて自動的にモニターが出納します。
- 12 モニターアクション設定
"Quick"に設定するとモニターが出るまでの所用時間が短くなります。
- 13 Screen Control画面に戻ります。
- 14 元の画面に戻ります。

セットアップメニュー

セットアップメニュー

本機のいろいろな設定をします。

コントロール画面を表示する



コントロール画面が表示されるまで数回押します。

コントロール画面



どのソースのコントロール画面でも同じセットアップメニューを表示できます。

セットアップメニュー画面を表示する



セットアップメニュー画面



- 1 音量を調整します。
- 2 セットアップメニュー項目をスクロールします。
- 3 各セットアップメニュー画面を表示します。
- 4 前に表示していたセットアップメニュー画面を表示します。
- 5 サウンドエフェクトメニューを表示します。
(68ページ)
- 6 元のソースのコントロール画面に戻ります。

セットアップメニューの「Audio Set Up」(48ページ)の設定によって、「サウンドエフェクトメニュー」の設定値が自動的に調整されます。まず、「Audio Set Up」を行った後に、「サウンドエフェクトメニュー」の設定をすることをお勧めします。

Audio Set Up

本機を使用する車両タイプやスピーカーシステムの設定をして、サウンドマネジメン

Car Type Set Up画面を表示する

車両タイプを指定することにより、デジタル・タイム・アライメント（各チャンネルごとの音声出力のタイミング調整）を自動設定して、サラウンド効果などを最大限に引き出します。



Car Type Set Up画面



- 1 音量を調整します。
- 2 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- 3 サウンドエフェクトメニューを表示します。（68ページ）
- 4 セットアップメニュー画面を表示します。
- 5 本機を使用する車両タイプを設定します。
- 6 DTA (Digital Time Alignment : デジタル タイムアライメント)設定画面を表示します。（52ページ）車両タイプの設定で自動調整されているデジタルタイムアライメントの設定値を調節できます。
- 7 DTA設定画面でメモリーした設定を呼び出します。
- 8 Speaker Set Up画面を表示します。

MEMO Audio Set Up が表示されていない場合は、**Audio Set Up** / **Prev** / **Next** をタッチして表示させます。

トシステムを機能させます。

Speaker Set Up画面を表示する

スピーカーの種類やサイズを指定して、スピーカークロスオーバーネットワークやイコライザーカーブを自動設定します。



Speaker Set Up画面



Channel Level画面を表示する

設置位置ごとの音量を設定します。



Channel Level画面



- 9 設定するスピーカーを選択します。（「Speaker Set Up」50ページ）
- 10 スピーカーの種類を設定します。（「Speaker Set Up」50ページ）
- 11 設定した状態をメモリーします。（「Speaker Set Upのメモリー」53ページ）
- 12 スピーカークロスオーバー設定画面を表示します。（「クロスオーバーネットワークの設定」53ページ）スピーカーの種類の設定で自動調整されているクロスオーバーの設定値を調節できます。
- 13 ツィーターの有無を設定します。（「Speaker Set Up」50ページ）
- 14 Channel Level設定画面を表示します。
- 15 Car Type Set Up設定画面を表示します。

- 16 設定するスピーカーを選択します。（「Channel Level」51ページ）
- 17 スピーカーの音量を設定します。（「Channel Level」51ページ）
- 18 設定状態を確認するためのテスト信号音の出力・停止をします。
- 19 Speaker Set Up画面を表示します。

MEMO 「Audio Set Up」（48ページ）で設定した車種や使用するスピーカーの設定によって、「サウンドエフェクトメニュー」の設定値が最適になるように調整されます。まず、「Audio Set Up」を行った後に、「サウンドエフェクトメニュー」の設定をすることをお勧めします。
また、自動設定された値は「DTAの設定」（52ページ）、「クロスオーバーネットワークの設定」（53ページ）、「Parametric Equalizer」（73ページ）で微調整ができます。

Speaker Set Up

サウンドエフェクトが最適になるように、スピーカーの種類・大きさを設定します。

1 調整するスピーカーを選択する



Speaker Set Up設定画面



- ① センタースピーカー
フロントスピーカーを選択中に設定できます。フロントスピーカーにツイーターを使用しているときは"Use"に設定します。"Use"に設定するとEqualizerが最適になるように調整されます。
- ② フロントスピーカー
- ③ リアスピーカー
- ④ サブウーファー
- ⑤ ツイーターの設定

2 スピーカーの種類を選択する



以下の種類から選択できます。

センタースピーカー

: NONE (無し)、40mmX70mm、5cm、10cm、13cm、16cm over

フロントスピーカー

: OEM、10cm、13cm、16cm、17cm、18cm、4X6inch、5X7inch、6X8inch、6X9inch、7X10inch

リアスピーカー

: NONE (無し)、OEM、10cm、13cm、16cm、17cm、18cm、4X6inch、5X7inch、6X8inch、6X9inch、7X10inch

サブウーファー

: NONE (無し)、16cm、20cm、25cm、30cm、38cm over

- SFC (70ページ)を"Bypass+Center"に設定中に、センタースピーカーの設定を一時的でも"NONE"にするとSFCは"Bypass"になります。
- SFC (70ページ)を"Dolby PL II"に設定中に、センタースピーカーとリアスピーカーの設定を"NONE"にするとSFCは"Bypass"になります。
- それぞれのスピーカーを設置していない場合は、"NONE"に設定してください。

Channel Level

設置位置別に音量を設定します。

1 調整するスピーカーを選択する



Channel Level設定画面



- ① センタースピーカー
- ② フロント左スピーカー
- ③ フロント右スピーカー
- ④ リア左スピーカー
- ⑤ リア右スピーカー

2 音量を調整する



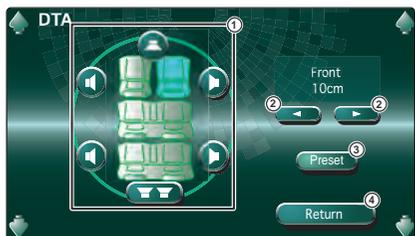
DTAの設定

各チャンネルごとの音声出力のタイミングを手動設定します。

1 DTA設定画面を表示する

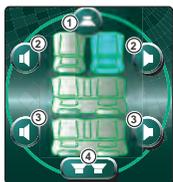


DTA設定画面



- ① 調整するスピーカーを選択します。
- ② 選択したスピーカーの遅延時間を設定します。
- ③ 調整した状態のメモリー、呼び出しをします。
- ④ Car Type Set Up画面に戻ります。

2 調整するスピーカーを選択する



- ① センタースピーカー
- ② フロントスピーカー
- ③ リアスピーカー
- ④ サブウーファー

3 遅延時間を設定する



仮想的にスピーカーを移動させたい距離に設定します。
センタースピーカーとフロントスピーカーは値を大きくすると前方向に移動し、リアスピーカーとサブウーファーは値を大きくすると後方向に移動したように聴こえます。

設定のメモリーと呼び出し

設定をメモリーする



2秒以上タッチします。

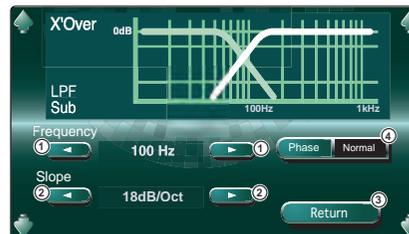
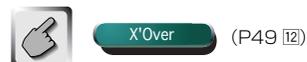
設定を呼び出す



Car Type Set Up画面のPreset [7]にタッチしても呼び出せます。

クロスオーバーネットワークの設定

スピーカーのクロスオーバー周波数の手動設定をします。



- ① クロスオーバー周波数を設定します。
- ② クロスオーバースロープを設定します。
- ③ Speaker Set Up画面に戻ります。
- ④ サブウーファー出力の位相を設定します。(サブウーファーのクロスオーバー周波数の設定時に表示されます)
"Reverse"に設定すると、位相が180度反転します。



- Speaker Set Up画面でスピーカーの種類の設定を行うと、クロスオーバーの設定は消去されず。
- クロスオーバーの設定をすると、Speaker Set Up画面のスピーカーの種類表示は"USER"になります。

Speaker Set Upのメモリー

スピーカーの設定やクロスオーバーの設定を一括してメモリーします。

設定をメモリーする



2秒以上タッチします。

設定を呼び出す



DVD SETUP

DVDの再生に関する設定をします。

DVD SETUP 1画面を表示する



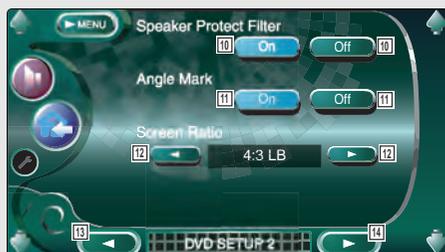
DVD SETUP 1画面



DVD SETUP 2画面を表示する



DVD SETUP 2画面



- 1 音量を調整します。
- 2 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- 3 サウンドエフェクトメニューを表示します。(68ページ)
- 4 セットアップメニュー画面を表示します。
- 5 ディスクメニューの言語を選択します。*1 (「言語の設定」56ページ)
- 6 サブタイトルの言語を選択します。*1 (「言語の設定」56ページ)
- 7 音声の言語を選択します。*1 (「言語の設定」56ページ)
- 8 ダイナミックレンジの設定をします。*2 (Wide) "Wide"、"Normal"、"Midnight"の順にダイナミックレンジが狭くなります。ダイナミックレンジを狭くすると、小さな音が聴きやすくなります。この設定は、ドルビーデジタルのソフトを使用中だけに効果が現れます。
- 9 DVD SETUP 2画面を表示します。

MEMO DVD SETUP が表示されていない場合は、**Prev** / **Next** をタッチして表示させます。

- 10 Speaker Protect Filterの設定をします。(On) "On"に設定すると70kHz以上 ("Off"時は90kHz以上)の周波数の音をカットしてスピーカーを保護します。この機能は、サンプリング周波数が192kHzまたは176.4kHzのDVDオーディオソフトを使用中に働きます。
- 11 アングルマークの表示の設定をします。(On)
- 12 画面の設定をします。*1 (16:9) "16:9": ワイド版の映像を再生する。
"4:3(LB)": レターボックス方式(上下に黒い帯のある画像)でワイド版の映像を再生する。
"4:3(PS)": パン&スキャン方式(左右が切れている画像)でワイド版の映像を再生する。
- 13 DVD SETUP 1画面を表示します。
- 14 DVD SETUP 3画面を表示します。

DVD SETUP 3画面を表示する



DVD SETUP 3画面



- 15 視聴規制設定画面を表示します。*1 (Off) (「パレンタルレベル設定」57ページ)
- 16 グループ連続プレイのオン・オフ設定をします。*1 (Off) "Off"に設定すると、グループのプレイが終わったときは、プレイがストップまたはメニューを表示します。
- 17 DVD Audioディスクの再生モードを設定します。*1 (Off) "On"に設定すると、DVD AudioディスクをDVD Videoディスクとしてプレイします。
- 18 DVD SETUP 2画面を表示します。

MEMO *1 DVDをプレイ中は設定できません。
*2 Zone機能がONのときは設定できません。

セットアップメニュー

言語の設定

音声やメニューなどの言語を設定します。

1 言語設定画面を表示する

「DVD SETUP 1画面を表示する」(54ページ)を参照して、設定したい言語の項目にタッチします。



- 1 言語記号を入力します。
- 2 設定を中止してDVD SETUP 1画面に戻ります。
- 3 入力した記号を消去します。
- 4 オリジナルの音声に設定します。(音声の設定時に表示されます)
- 5 言語を設定してDVD SETUP 1画面に戻ります。(記号を入力後に表示されます)

2 言語記号を入力する

右記の表を参照して希望する言語の記号を入力します。

3 言語を設定する



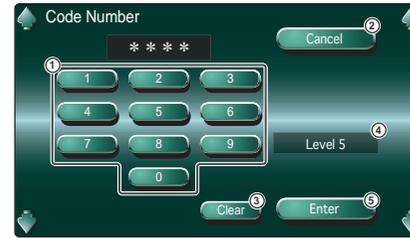
言語記号一覧表

記号	言語	記号	言語
aa	アフガル語	lv	ラトビア語、レット語
ab	アフシヤ語	mg	マダガスカル語
af	アフリカーンス語	mi	マオリ語
am	アムハラ語	mk	マケドニア語
ar	アラビア語	ml	マラーヤラム語
as	アッサム語	mn	モンゴル語
ay	アイマラ語	mo	モルダビア語
az	アゼルバイジャン語	mr	マラータ語
ba	バシキール語	ms	マレー語
be	ベラルーシ語	mt	マルタ語
bg	ブルガリア語	my	ミャンマー語
bh	ビハール語	na	ナウル語
bi	ビスラマ語	ne	ネパール語
bn	ベンガル語、バングラ語	nl	オランダ語
bo	チベット語	no	ノルウェー語
br	ブルトン語	oc	プロバンス語
ca	カタロニア語	om	(アフアン) オロモ語
co	コルシカ語	or	オリヤー語
cs	チェコ語	pa	パンジャブ語
cy	ウェールズ語	pl	ポーランド語
da	デンマーク語	ps	パシュトー語
de	ドイツ語	pt	ポルトガル語
dz	ブータン語	qu	ケチュア語
el	ギリシャ語	rm	ラエティ=ロマン語
en	英語	rn	キンディ語
eo	エスペラント語	ro	ルーマニア語
es	スペイン語	ru	ロシア語
et	エストニア語	rw	キニヤルワンダ語
eu	バスク語	sa	サンスクリット語
fa	ペルシャ語	sd	シンド語
fi	フィンランド語	sg	サンゴ語
fj	フィジー語	sh	セルビアクロアチア語
fo	フェロー語	si	シンハラ語
fr	フランス語	sk	スロバキア語
fy	フリジア語	sl	スロベニア語
ga	アイルランド語	sm	サモア語
gd	スコットランドゲール語	sn	ショナ語
gl	ガリシア語	so	ソマリ語
gn	グアラニ語	sq	アルバニア語
gu	グジャラート語	sr	セルビア語
ha	ハウサ語	ss	シスワティ語
hi	ヒンディー語	st	セストツ語
hr	クロアチア語	su	スンダ語
hu	ハンガリー語	sv	スウェーデン語
hy	アルメニア語	sw	スワヒリ語
ia	国際語	ta	タミール語
ie	国際語	te	テルグ語
ik	Inupiak語	tg	タジク語
in	インドネシア語	th	タイ語
is	アイスランド語	ti	ティグリニヤ語
it	イタリア語	tk	トルクメン語
iw	ヘブライ語	tl	タガログ語
ja	日本語	tn	セツワナ語
ji	イディッシュ語	to	トンガ語
jw	ジャワ語	tr	トルコ語
ka	グルジア語	ts	ツォンガ語
kk	カザフ語	tt	タタール語
kl	グリーンランド語	tw	トワイ語
km	カンボジア語	uk	ウクライナ語
kn	カナダ語	ur	ウルドゥー語
ko	韓国語	uz	ウズベク語
ks	カシミール語	vi	ベトナム語
ku	クルド語	vo	ボラビュク語
ky	キルギス語	wo	ウォロフ語
la	ラテン語	xh	コーサ語
ln	リンガラ語	yo	ヨルバ語
lo	ラオス語	zh	中国語
lt	リトアニア語	zu	ズール語

パレンタルレベル設定

視聴規制レベルを設定します。

1 パレンタルレベル設定画面を表示する



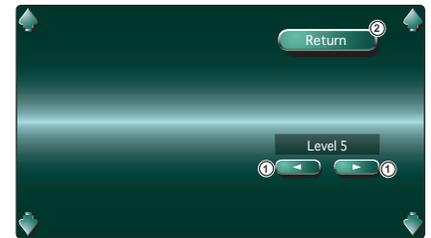
- 1 暗証番号を入力します。
- 2 設定を中止してDVD SETUP 3画面に戻ります。
- 3 入力した暗証番号を消去します。
- 4 現在の視聴規制レベル表示
- 5 暗証番号を決定して視聴設定画面を表示します。

2 パスワードを入力する



- 最初に入力した番号が暗証番号になります。
- 暗証番号はリセットボタンを押すと消去されません。

3 視聴設定画面を表示する



- 1 視聴制限レベルを設定します。
- 2 DVD SETUP 3画面に戻ります。

4 視聴制限を設定する



5 視聴制限を確定する



- 再生する場面が設定したレベルより高い場合は、暗証番号の入力が必要になります。
- 設定レベルはディスクにより異なります。
- 視聴規制のないディスクでは、設定をしても規制されません。

System Setup

システムに関する設定をします。

System 1画面を表示する



- 1 音量を調整します。
- 2 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- 3 サウンドエフェクトメニューを表示します。(68ページ)
- 4 セットアップメニュー画面を表示します。
- 5 操作音のオン・オフ設定をします。(On)
- 6 ソースコントロール画面でのテキスト表示のスクロール設定をします。(Auto)
"Auto": 連続してスクロールします。
"Manual": 表示内容が変わったときに1回スクロールします。
- 7 リモコン信号の設定をします。(On)
"Off"に設定すると、TVの受信に関するリモコンの操作を受け付けなくなります。
- 8 System 2画面を表示します。

System Set Up が表示されていない場合は、 / をタッチして表示させます。

System 2画面を表示する



- 9 本体のキーのイルミネーションの色を設定します。(Red)
"Green": グリーン
"Red": レッド
 - 10 スモールディスプレイのイルミネーションの色を設定します。(Blue)
"Blue": ブルー
"Key Sync": ボタンのイルミネーションの色と同じになります。
 - 11 プロテクションパネルを取り外したときの、盗難防止用警告ランプの点滅の設定をします。(On)
 - 12 音楽CDのプレイの設定をします。(1)
"1": MP3/WMAディスクやVCD、音楽CDを自動認識して再生します。
"2": 音楽CDとして強制的にプレイします。特殊なフォーマットの音楽CDをプレイしたいときなど、"1"の設定では正常のプレイできないときに設定します。
- "2"に設定しているときは、MP3/WMA/VCDディスクはプレイできません。また、音楽CDによっては、"2"に設定してもプレイできない場合があります。
- プレイ中は設定できません。
- 13 System 1画面を表示します。

AV Interface

画像や音声の設定をします。

AV I/F 1画面を表示する



- 1 音量を調整します。
- 2 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- 3 サウンドエフェクトメニューを表示します。(68ページ)
- 4 セットアップメニュー画面を表示します。
- 5 ナビゲーションシステムの接続方法を設定します。
(RGB)
"RGB": ケンウッド製ナビゲーションシステムを専用のインターフェースケーブルで接続しているとき。
"AV-IN1": 他社製ナビゲーションシステムをAV INPUT1入力端子に接続しているとき。
"OFF": ナビゲーションシステムを接続していないとき。(画像ソースの切り替えにナビゲーション表示がなくなります)
- 6 AV INPUT1端子に接続した機器の映像を選択したときに表示される名前を設定します。(VIDEO1)
MEMO ナビゲーションシステムの接続方法で、"AV-IN1"を選択している場合は"NAV"表示で固定されます。
- 7 AV INPUT2端子に接続された機器の映像の表示方法を設定します。(Normal)
"Normal": 画像ソースの切り替えをしたときに表示されます。
"AUTO": AV INPUT2端子に画像信号を入力すると表示されます。
"R-ViewCAM": 車両のシフトレバーをリバースにすると表示されます。
- 8 AV INPUT2端子に接続した機器の映像を選択したときに表示される名前を設定します。(VIDEO2)
MEMO AV INPUT2の映像の切り替えかたで"R-ViewCAM"を選択している場合は"R-View CAM"で固定されます。
- 9 AV I/F 2画面を表示します。

MEMO AV Interface が表示されていない場合は、
▲ Prev / ▼ Next をタッチして表示させます。

AV I/F 2画面を表示する

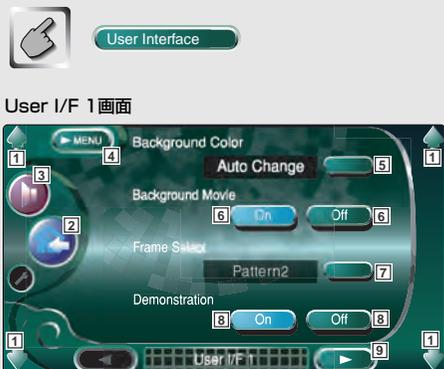


- 10 AV OUTPUT端子から出力する映像ソースを選択します。(TV)
- 11 ナビゲーションシステムの音声ガイドを、出力させるスピーカーを設定します。(Left)
"Left": フロント左側から出力されます。
"Right": フロント右側から出力されます。
"Front All": フロント左右から出力されます。
- 12 ナビゲーションシステムの音声ガイドの音量を設定します。(19)
- 13 ナビゲーションシステムの音声ガイド時の音量を設定します。(On)
"On"に設定すると、音声ガイド中は音声小さくなります。
- 14 AV I/F 1画面を表示します。

User Interface

ユーザーインターフェイスの設定をします。

User I/F 1画面を表示する



- 1 音量を調整します。
- 2 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- 3 サウンドエフェクトメニューを表示します。(68ページ)
- 4 セットアップメニュー画面を表示します。
- 5 ソースコントロール画面の背景の色を設定します。
(No Change)
"Auto Change"を選択すると背景色が自動的に徐々に変わります。
- 6 ソースコントロール画面の背景の動画のオン・オフ設定をします。(On)
- 7 フレームの設定をします。(Pattern1)
"Pattern1"と"Pattern2"から設定できます。
- 8 ソースコントロール画面表示中のスクリーンセーバーのオン・オフ設定をします。
(On)
"On"に設定して、1分間操作をしないとスクリーンセーバー機能が動きます。
スクリーンセーバーは画面にタッチすると解除されます。
- 9 User I/F 2画面を表示します。

が表示されていない場合は、
 / をタッチして表示させます。

User I/F 2画面を表示する



- 10 ナビゲーション画面のオンスクリーン表示の設定をします。(Auto)
"Auto"に設定すると、表示内容が変わったときに5秒間表示されます。
- 11 TV画面のオンスクリーン表示の設定をします。
(Auto)
"Auto"に設定すると、表示内容が変わったときに5秒間表示されます。
- 12 ビデオ画面のオンスクリーン表示の設定をします。
(Auto)
"Auto"に設定すると、表示内容が変わったときに5秒間表示されます。
- 13 DVD画面のオンスクリーン表示の設定をします。
(Manual)
"Auto"に設定すると、表示内容が変わったときに5秒間表示されます。
- 14 User I/F 1画面を表示します。
- 15 User I/F 3画面を表示します。

User I/F 3画面を表示する



- 16 ソースコントロール画面のボタンにタッチしているときのインフォメーション表示のオン・オフ設定をします。(On)
- 17 画面をタッチしているポイントの表示を設定します。(Pattern1)
"Pattern1"、"Pattern2"、"OFF"から設定できます。
- 18 User I/F 2画面を表示します。

セットアップメニュー

Touch Panel Adjust

タッチパネルの調整をします。

1 Touch Panel Adjust画面を表示する

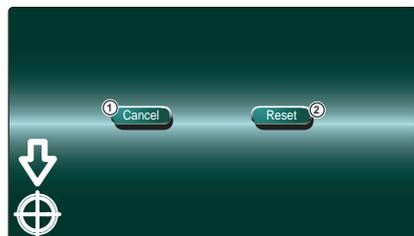


Touch が表示されていない場合は、
▲ Prev. / ▼ Next をタッチして表示させ
ます。



- ① 音量を調整します。
- ② 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- ③ サウンドエフェクトメニューを表示します。
(68ページ)
- ④ セットアップメニュー画面を表示します。
- ⑤ タッチパネルの調整を開始します。

2 調整を開始する



- ① 調整を中止して、Touch Panel Adjust画面に戻ります。
- ② 初期状態に戻します。

3 調整をする



指示に従って左下、右上の ⊕ の中心をタッチしま
す。

Clock

時計を調整します。

1 Clock画面を表示する



Clock が表示されていない場合は、
▲ Prev. / ▼ Next をタッチして表示させ
ます。



- ① 音量を調整します。
- ② 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- ③ サウンドエフェクトメニューを表示します。
(68ページ)
- ④ セットアップメニュー画面を表示します。
- ⑤ 時刻表示
- ⑥ 時を調整します。
- ⑦ 分を調整します。
- ⑧ 分を"00"にセットします。
例：3:00~3:29 → 3:00
3:30~3:59 → 4:00

2 時刻の調整をする



Security Code Set

暗証番号を登録して盗難を抑制します。

MEMO Security Code を登録すると、コードの変更や削除はできません。また、機能の解除もできません。あなたが選択した4つのコードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 Security Code Set画面を表示する



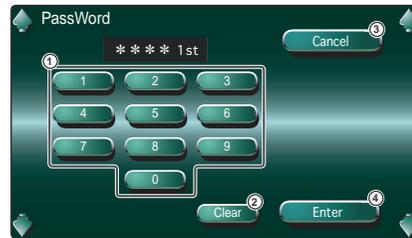
Security が表示されていない場合は、
Prev. / Next をタッチして表示させます。



- ① 音量を調整します。
- ② 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- ③ サウンドエフェクトメニューを表示します。(68ページ)
- ④ セットアップメニュー画面を表示します。
- ⑤ セキュリティコードの登録を開始します。

MEMO 登録が終了している場合は Set は表示されません。

2 登録を開始する



- ① セキュリティコードを入力します。
- ② 入力した数字を消去します。
- ③ 登録を中止して、Security Code Set画面に戻ります。
- ④ セキュリティコードを登録します。

3 セキュリティコードを入力する



4桁の数字を入力します。

4 セキュリティコードを登録する



5 セキュリティコードを再度入力する

確認のため手順3で入力したセキュリティコードを再入力します。

MEMO 手順3と違うコードを入力すると1回目のコード入力(手順3)に戻ります。

6 セキュリティコードを再度登録する



セキュリティコードの登録が完了します。
このあと、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要となります。
詳しくは以下を参照してください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外して最初に使うときは…

1 セキュリティコードを入力する



前記の手順3で入力した番号と同じ番号を入力します。

2 セキュリティコードを登録する



本機が使用できるようになります。

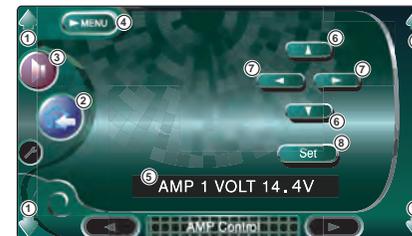
AMP Control

LX BUSで接続されたパワーアンプの設定をします。

1 AMP Control画面を表示する



AMP Control が表示されていない場合は、
Prev. / Next をタッチして表示させます。



- ① 音量を調整します。
- ② 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- ③ サウンドエフェクトメニューを表示します。(68ページ)
- ④ セットアップメニュー画面を表示します。
- ⑤ 設定項目、設定値表示
- ⑥ 設定項目を選択します。
- ⑦ 設定値を選択します。
- ⑧ 設定値を確定します。

2 設定項目を選択する



3 設定値を選択する



4 設定値を確定する



- MEMO**
- 本機からコントロールできるアンプの機種名についてはカタログをご覧ください。
 - 変更できる項目や設定、変更時のアンプの動作などについては、アンプの取扱説明書をご覧ください。

サウンドエフェクトメニュー

本機の音響設定をします。

コントロール画面を表示する



コントロール画面



サウンドエフェクトメニュー画面を表示する



サウンドエフェクト画面



MEMO どのソースのコントロール画面でも同じサウンドエフェクトメニューを表示できます。

- ① 音量を調整します。
- ② 各サウンドエフェクトメニュー画面を表示します。
- ③ 前に表示していたサウンドエフェクト画面を表示します。
- ④ セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- ⑤ 元のソースのコントロール画面に戻ります。

MEMO セットアップメニューの「Audio Set Up」(48ページ)の設定によって、「サウンドエフェクトメニュー」の設定値が自動的に調整されます。まず、「Audio Set Up」を行った後に、「サウンドエフェクトメニュー」の設定をすることをお勧めします。

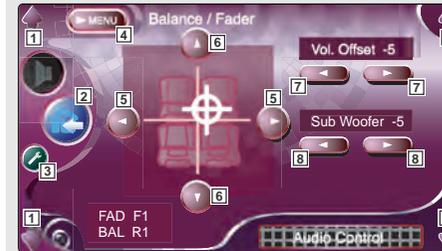
Audio Control

前後左右の音量バランスなどを設定をします。

Audio Control画面を表示する



Audio Control画面



- ① 音量を調整します。
- ② 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- ③ セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- ④ サウンドエフェクトメニュー画面を表示します。
- ⑤ 左右の音量バランスを設定します。
- ⑥ 前後の音量バランスの設定をします。
- ⑦ 現在のソースの音量を、元の音量との差で設定します。
- ⑧ サブウーファーの音量を設定します。

MEMO 元の音量を大きくして、「Vol. offset」で音を小さくするように調整した場合、ほかのソースに切り替えたときに、突然大きな音が出る場合があります。

SFC

サウンドフィールドの設定をします。

SFC画面を表示する



SFC画面

- ① 音量を調整します。
- ② 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- ③ セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- ④ サウンドエフェクトメニュー画面を表示します。
- ⑤ サウンドフィールドの設定をします。
サウンドフィールドは以下の中から選択できます。
 - "Bypass"
 - "Stadium"
 - "Concert Hall"
 - "Live House"
 - "Theater"
 - "Disco"
 - "Club Disco"
 - "Jazz Club"
 - "Studio"
 - "Listening Room"
 - "Church"
 - "Bypass+Center"
 - "Dolby PL II Music"
 - "Dolby PL II Movie"
 - "Dolby PL II Matrix"
- ⑥ 現在のソースの情報を表示しています。
ストリーム (Dolby Digital, dts, Linear PCM, Packed PCM, MPEG, MP3/WMA)、入力チャンネル (フロントチャンネル/リアチャンネル)、およびサンプリング周波数を表示します。
- ⑦ SFC Adjust画面を表示します。
(「SFC Adjust」 71ページ)

- 内蔵プレーヤー以外のソースを選択中にDolby Pro Logic IIを選択すると、DVDソースのプレイがストップします。
- TVやTUNERソース時にDolby PLに設定する場合は「Dolby PL II Matrix」にすることをお勧めします。「Dolby PL II Matrix」以外のDolby PLを選択すると、モノラル放送受信時にリア側からの音が出力されません。

SFC Adjust

サウンドフィールドの調整をします。

1 SFC Adjust画面を表示する



SFC Adjust画面



- ① 音量を調整します。
- ② サウンドフィールド効果レベルを設定します。
- ③ リア側の低音のブースト量を設定します。
- ④ センタースピーカーレベルの設定をします。
- ⑤ 設定をしてSFC Control画面に戻ります。

サウンドフィールドを「Dolby PL II Music」に設定している場合



- ⑥ フロント、リアの配分を調整して、サラウンド環境の定位を設定します。
- ⑦ センター音声の左右に振り分ける配分を調整してボーカルイメージの位置を設定します。
- ⑧ パノラマモードのオン・オフ設定をします。

- dts、Dolby Digitalまたは5.1chソースをプレイ中にSFC Adjustは行えません。
- サウンドフィールドを「Dolby PL II Movie」または「Dolby PL II Matrix」に設定しているときは、SFC Adjustは行えません。

2 サウンドフィールドの調整をする



3 サウンドフィールドの調整を終了する



Equalizer

イコライザーの設定をします。

Equalizer画面を表示する



- 1 音量を調整します。
- 2 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- 3 セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- 4 サウンドエフェクトメニュー画面を表示します。
- 5 B.M.S機能搭載パワーアンプ(別売品)の低音域の増幅量を設定します。
メモ パワーアンプによっては"+18"の設定ができないモデルがあります。詳しくはカタログをご覧ください。
- 6 "Amp Bass"で設定した低音増幅の中心周波数を設定します。
 "Low"に設定すると中心周波数が20~30%低くなります。
- 7 Parametric Equalizer画面を表示します。(71ページ)
 イコライザーカーブタイプで設定された値を調整できます。
- 8 イコライザーカーブタイプを設定します。
 イコライザーカーブは以下の中から選択できます。
 - "NATURAL"
 - "ROCK"
 - "POPS"
 - "DANCE"
 - "VOCAL"
 - "CLASSIC"

Parametric Equalizer

中心周波数、ゲインレベル、Q(尖鋭)を自在に設定してイコライザーカーブを手動で設定します。

1 Parametric Equalizer画面を表示する



- 1 音量を調整します。
- 2③④⑤ 調整する帯域を選択します。
- 6 周波数を設定します。
- 7 ゲインレベルを設定します。
- 8 Q(尖鋭)を設定します。
- 9 現在設定しているイコライザーカーブをメモリー・呼び出します。
- 10 Parametric Equalizerの設定を終了して Equalizer画面に戻ります。

2 調整する周波数帯域を選択する



- 調整できる周波数は左の帯域から以下ようになります。
- ② 60、80、100、120、160、200、250 Hz
 - ③ 315、400、500、630、800、1k Hz
 - ④ 1.25k、1.6k、2k、2.5k、3.15k、4k Hz
 - ⑤ 5k、6.3k、8k、10k、12.5k、16k Hz

3 中心周波数を設定する



4 ゲインを設定する



5 Q(尖鋭)を設定する



イコライザーカーブのメモリーと呼び出し

イコライザーカーブのメモリー



メモリーさせたい P1 - P3 を2秒以上タッチします。

イコライザーカーブを呼び出す



呼び出したいイコライザーカーブがメモリーされている P1 - P3 をタッチします。
 イコライザーカーブを呼び出すとイコライザーカーブタイプの表示が"USER#"と表示されます。

6 Parametric Equalizerを終了する



Position

サウンドエフェクトの効果を、聴く位置に合わせて調整します。

Position画面を表示する



Position画面



- 1 音量を調整します。
- 2 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- 3 セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- 4 サウンドエフェクトメニュー画面を表示します。
- 5 ポジションを設定します。
"FRONT R" (フロント右)、"FRONT L" (フロント左)、"FRONT ALL" (フロント全体)、"ALL" (全体) から選択できます。
- 6 Position Fine Control画面を表示します。(75ページ)
- 7 Position Fine Controlで設定・メモリーした状態を呼び出します。

- 最終的な距離調整値は、Car Type Set Up (48ページ) による設定とポジション設定 (PositionおよびPosition Fine Control) の設定値の合計です。
- Car Type Set Up (48ページ) の設定を変えると、ポジション設定は"ALL"になります。

Position Fine Control

Positionの設定を微調整します。

1 Position Fine Control画面を表示する

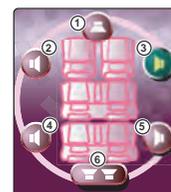


Position Fine Control画面



- 1 音量を調整します。
- 2 調整する位置のスピーカーを選択します。
- 3 設定距離表示
ポジション設定 (PositionおよびPosition Fine Control) の調整距離と、Car Type Set Up (48ページ) により自動調整されている距離とポジション設定の調整距離の合計距離を表示します。
- 4 スピーカーまでの距離を調整します。
- 5 現在設定している調整状態をメモリー・呼び出します。
- 6 Position Fine Controlの設定を終了してPosition画面に戻ります。

2 調整する位置のスピーカーを選択する



- 1 センタースピーカー
- 2 フロント左スピーカー
- 3 フロント右スピーカー
- 4 リア左スピーカー
- 5 リア右スピーカー
- 6 サブウーファー

3 デリレイタイムを設定する



調整状態のメモリーと呼び出し

調整状態のメモリー



メモリーさせたい P1 - P3 を2秒以上タッチします。

調整状態を呼び出す



呼び出したい調整状態がメモリーされている P1 - P3 をタッチします。

- メモリーした調整状態はPosition画面 (74ページ) の P1 - P3 でも呼び出せます。
- メモリーされるのはポジション設定 (PositionおよびPosition Fine Control) の調整距離です。このため、Car Type Set Up (48ページ) の設定を変えると最終的な調整距離は変化します。

4 Position Fine Controlを終了する



Zone Control

リア側とフロント側の音声ソースを設定します。

Zone Control画面を表示する



Zone Control画面



- 1 音量を調整します。
- 2 元のソースのコントロール画面に戻ります。
- 3 セットアップメニューを表示します。(47ページ)
- 4 サウンドエフェクトメニュー画面を表示します。
- 5 Zone機能(フロントとリアを異なるソースの音声にする機能)のオン・オフ設定をします。オンになると **Front** や **Rear** が表示されます。
- 6 フロントとリアの音量バランスを調整します。(Zone機能がオンのときに表示されます)
メモ Zone機能をオンにするとすべてのソースコントロール画面でこのボタンが表示されます。
- 7 フロントとリアそれぞれの音声ソースを設定します。(Zone機能がオンのときに表示されます)
メモ リアの音声ソースを切り替えると、AV OUTPUT端子から出力される音声ソースも連動して同じソースに切り替わります。
ただし、"Area"を"Reverse"に設定したときは、フロントの音声ソースに連動してAV OUTPUT端子から出力される音声も切り替わります。
- 8 フロントとリアの音声ソースを切り替えます。(Zone機能がオンのときに表示されます)
"Reverse"を選択するとフロントとリアの音声ソースが逆転します。

取り付け上のご注意

警告



禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



注意

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



実施

本製品はしっかり固定してください。固定できない場所には取り付けしないでください。



実施

安全のため、パーキング検出コードは必ず接続し、走行中にテレビやビデオ、DVDなどの映像が見られないようにしてください。

注意



実施

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためくお買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止



本機を使用中は、レシーバーユニットの表面の放熱部分に触れないでください。



実施

製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



禁止

製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。



実施

TVアンテナはリアウインドウのガラス面に取り付けます。付属のクリーナーとクリーニングクロスでガラス面の油膜や汚れを拭き取ってから、確実に固定してください。不安定な取り付けをしますと、脱落等により車両を傷つけたり、事故の原因となります。



実施

TVアンテナは右用、左用があります。取り付けの際は車幅やバンパーからはみ出さないように取り付けてください。



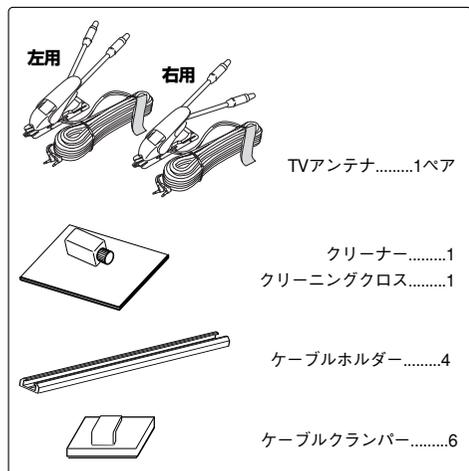
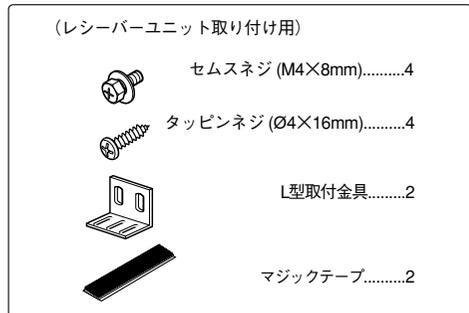
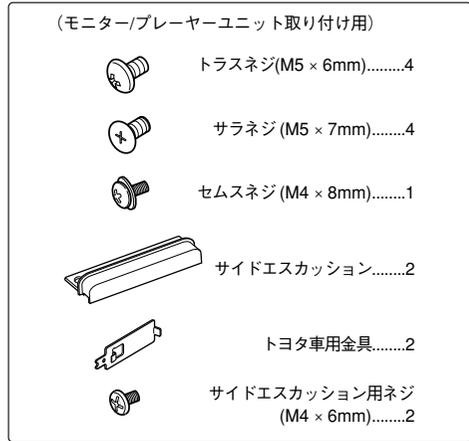
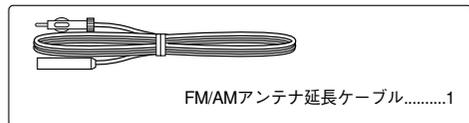
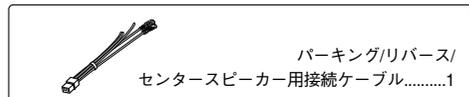
注意

TVアンテナを取り付ける際は車両のFM/AMアンテナやナビゲーションシステムのGPSアンテナから離してください。アンテナ間の距離が近いとFM/AM放送やTV放送受信時にノイズが入る場合があります。

取り付けかた

取り付け用部品

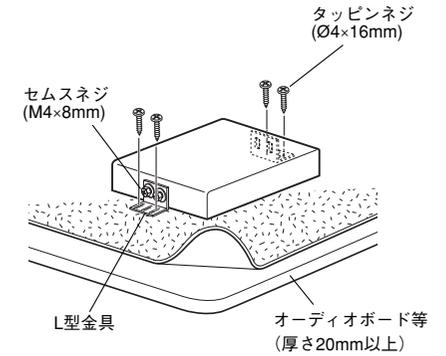
本機には取り付け用として以下の部品が付属されています。取り付け前にご確認ください。



レシーバーユニットの取り付け

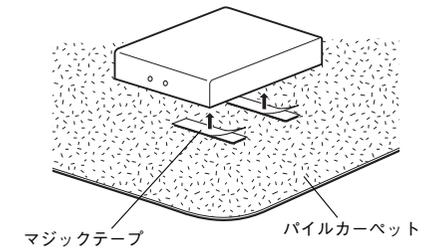
オーディオボードへの固定

1. 取り付け金具をレシーバーユニットの両側にセムスネジ(M4×8mm)で固定します。
2. タッピンネジ(Ø4×16mm)を使用してオーディオボード等に固定します。



パイルカーペットへの固定

マジックテープのはくり紙をはがし、レシーバーユニットの底面に貼り、パイルカーペットに固定します。



- 安全のために、L型金具とタッピンネジ、セムスネジを使用して取り付けてください。
- レシーバーユニットにカーペットを被せないでください。放熱ができなくなり、内部が高温になり故障や発煙する場合があります。

取り付けかた

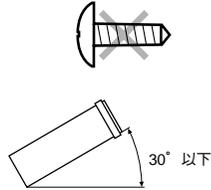
モニター・プレーヤーユニットの取り付け

車両ブラケットとモニター・プレーヤーユニットのネジ穴の位置により取り付け方法が4通りあります。

注意 必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、ブラケットなどから本体が外れることがあります。

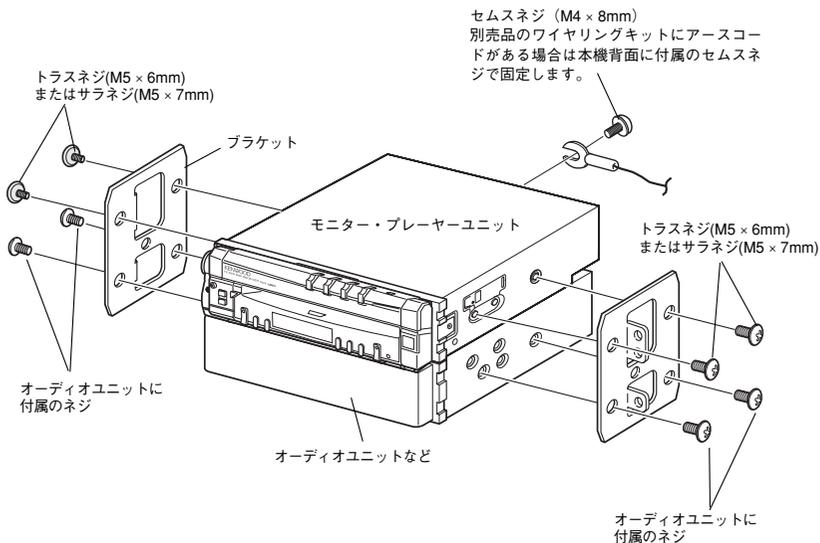
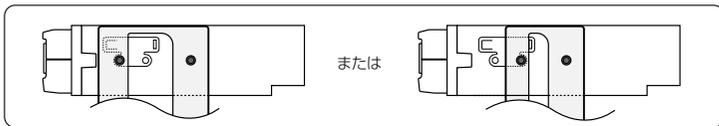


実施 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けるとモニターの開閉に支障をきたしたり、音飛びや映像途切れの原因になります。またモニター部を持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



MEMO 別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

■ 車両ブラケットが下図の●位置の穴を使用するトヨタ車や日産車、三菱車などに付ける場合

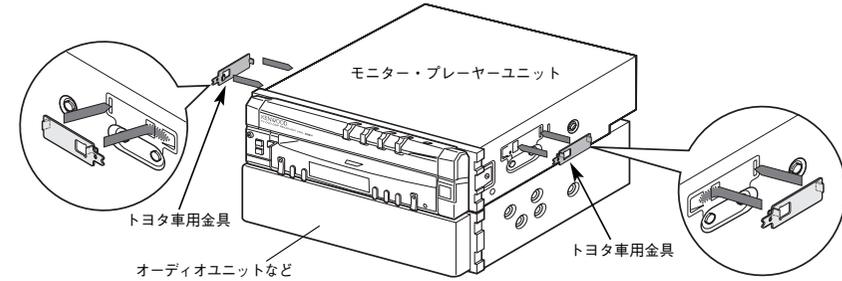


■ 車両ブラケットが下図の●位置の穴を使用するトヨタ車に取り付ける場合

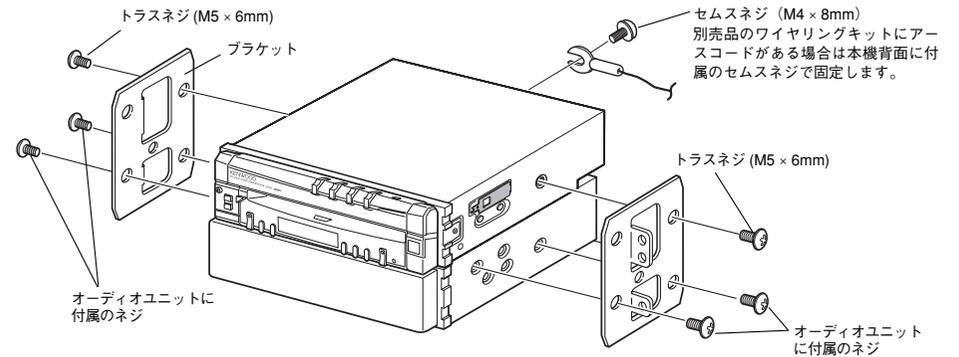


車両ブラケットが上図の形状の場合、本機の左右2ヶ所ずつをネジで固定できません。以下のようにトヨタ車用金具を使用してブラケットを固定してください。

1. トヨタ車用金具を下図のように両サイドに取り付けます。

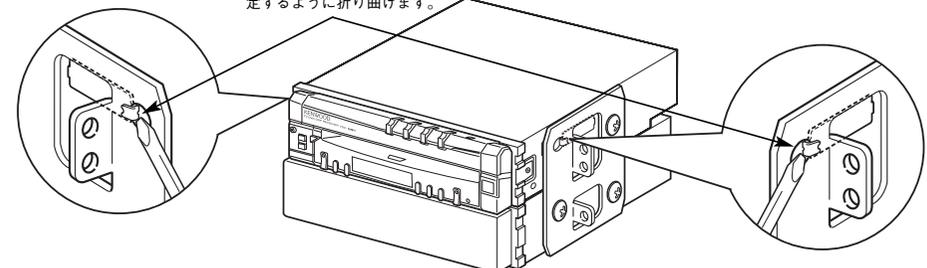


2. ブラケットを取り付けます。



3. トヨタ車用金具の先端を折り曲げて、ブラケットを固定します。

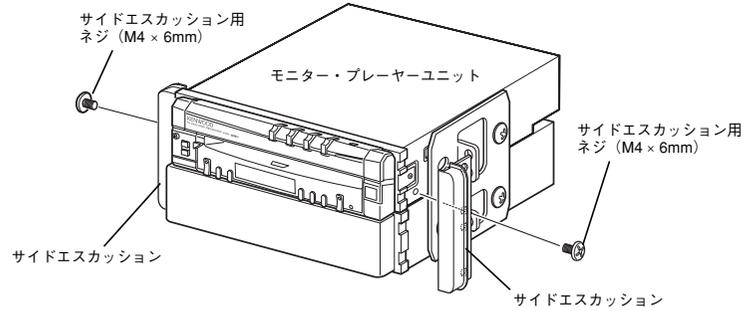
ドライバーやペンチを使用して、左右の金具でブラケットの穴を固定するように折り曲げます。



モニター・プレーヤーユニットの取り付け (続き)

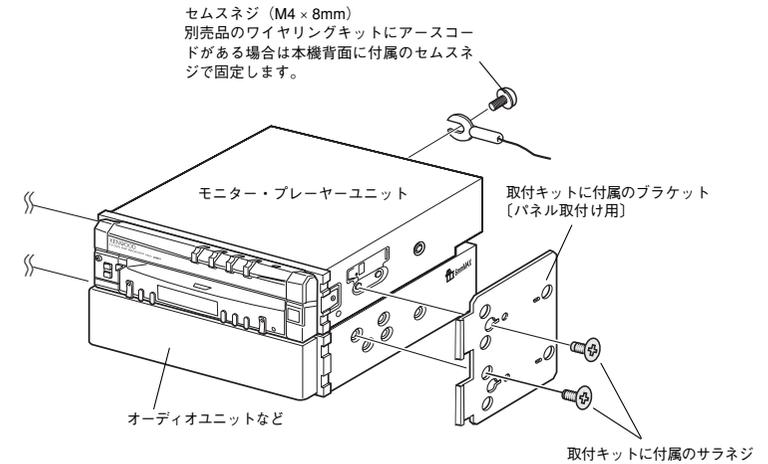
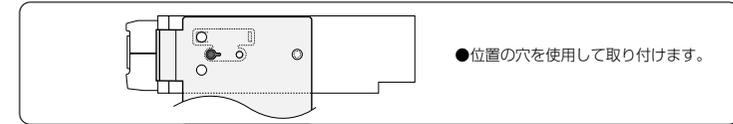
トヨタ新規格オーディオ装着車に取り付ける場合

トヨタ新規格オーディオ（幅広タイプ）装着車に取り付ける場合は、サイドエスカッションとエスカッション用ネジを使用して、両サイドの隙間を隠します。



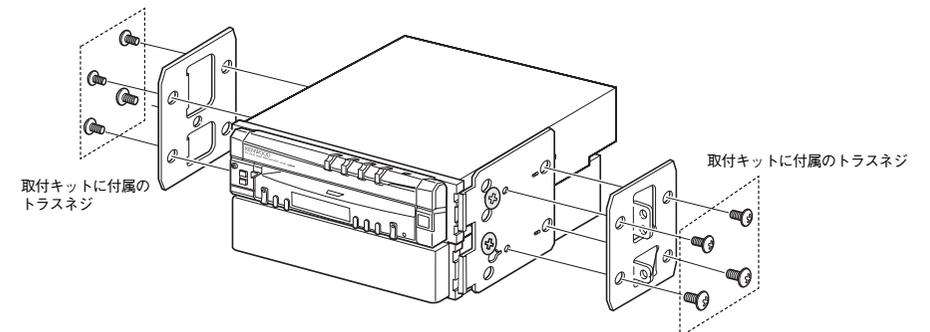
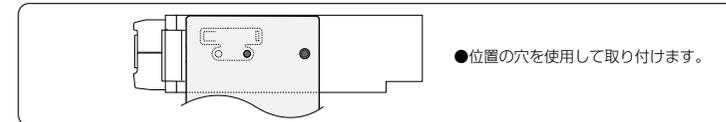
■ ホンダ汎用取付キットSKH-4107/SKH-4108を使用してホンダ車に取り付ける場合

1. ブラケット〔パネル取付け用〕を取り付けます。



取付キットに同梱のパネルの取り付け方法については、取付キットに付属の取扱説明書を参照してください。

2. ブラケットを取り付けます。

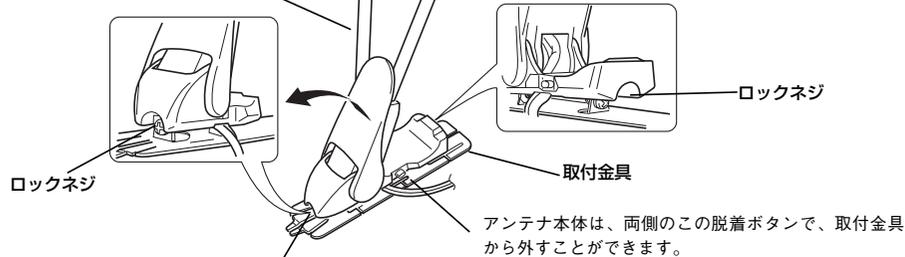


アンテナの取り付け

ロッドアンテナの振れ角度は約45度の範囲で調整できます。

跳ね上げ角度は、4ポジションの中から（最大90度）選べます。

アンテナは5段ロッドタイプです。正しい性能を得る為に、アンテナは完全に伸ばしてお使いください。

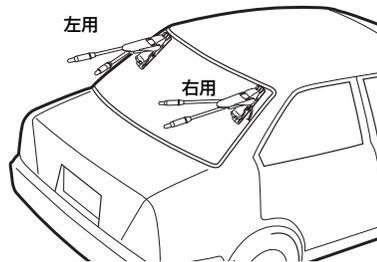


前後のロックネジを緩めると、アンテナ本体を左右45度の範囲で傾けることができます。傾け角度を決めたら、ロックネジを絞めて固定します。

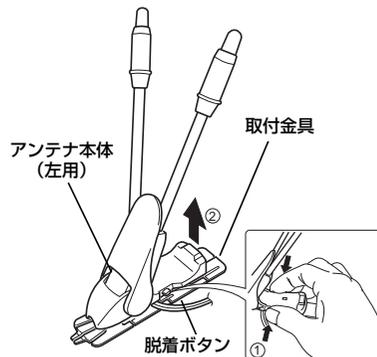
1. 取付金具をアンテナ本体に取り付けた状態で、左右のアンテナをリアウインドウガラス上に置いて取り付け位置を決めます。アンテナは角度を変え、長さは最長にして実使用状態で確認してください。

注意

- TVアンテナは右用、左用があります。車幅やバンパーからはみ出さない位置にしてください。
- TVアンテナは車両のFM/AMアンテナから離してください。アンテナ間の距離が近いとFM/AM放送受信時にノイズが入る場合があります。
- 取付金具の貼り直しはできません。取り付け場所は慎重に決めてください。



2. アンテナ本体にある両側の脱着ボタンを押しながら【手順1】、アンテナ本体をうえに持ち上げて【手順2】、アンテナ本体をいったん取り付け金具から取り外します。

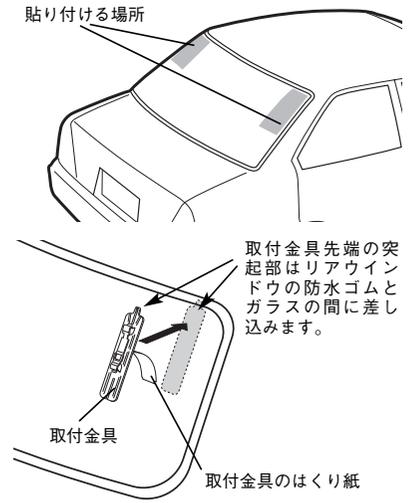


3. アンテナを貼り付ける場所は、付属のクリーナーとクリーニングクロスを使用して油污等を落としします。
4. 取り付け面の湾曲が大きい場合は取付金具を湾曲面に合わせて曲げます。
5. 取付金具裏面の両面テープのはくり紙をはがし、上から強く押しつけて取付金具を貼り付けます。



注意

- 取付金具は確実に固定してください。不安定な取り付けをしますと、脱落等により車両を傷つけたり、事故の原因になります。
- リアウインドウのガラス面温度が低いときは、リアデフォグの電源を入れて温めてください。温度の低いところでは両面テープの粘着力が弱くなります。また、雨の日など湿度が高い日は屋内で作業を行ってください。湿度が高いときも両面テープの粘着力が弱くなります。

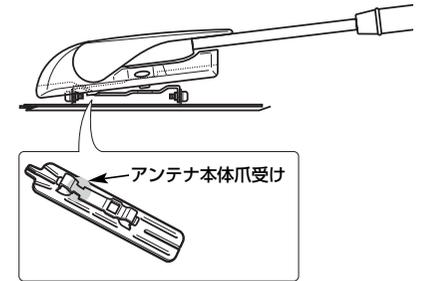


6. 取付金具を貼り付けたあと24時間以上放置します。このあいだ、取付金具に水をかけたり、力を加えたりしないよう注意してください。
7. アンテナ本体の左右を間違えないように、アンテナ本体を取り外したときと逆の手順で取付金具に取り付けます。

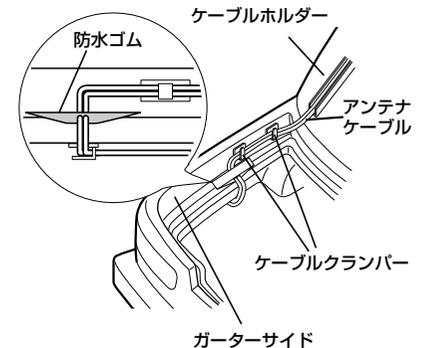


注意

アンテナ本体を取り付ける時は、右図のようにアンテナ本体の下部前面の爪を取付金具に引っかけてから、アンテナ本体をロックするまで下に押しします。



8. ケーブルホルダーを、アンテナ本体からアンテナケーブルを引き込む位置までの長さで切り、裏面のはくり紙をはがして、ガラス面に貼り付けます。
9. アンテナケーブルのねじれを直しながらケーブルホルダーにはめ込みます。
10. アンテナケーブルを車両のガーターサイドに沿って配線し、ケーブルクランパーで固定します。アンテナケーブルに付いている防水ゴムはトランクリッドにあたるようにします。
11. アンテナケーブルをレシーバーユニットまで配線します。



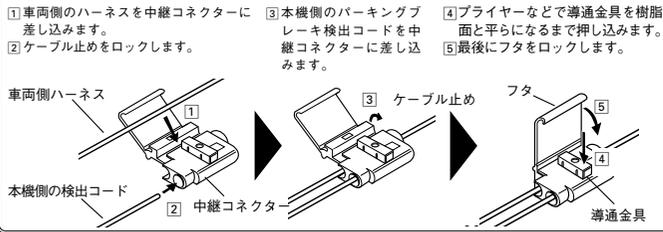
接続のしかた

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

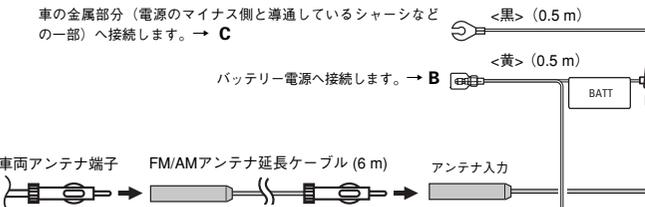
1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをユニットに接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。

中継コネクターの使いかた



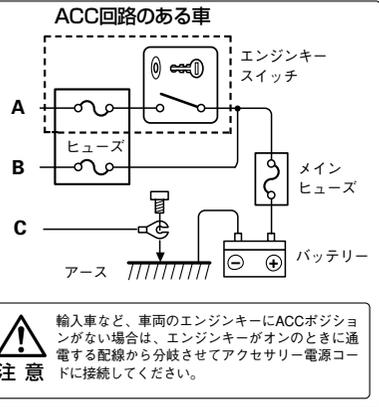
! 安全のためパーキングブレーキ検出コードは、必ず配線してください。

実施



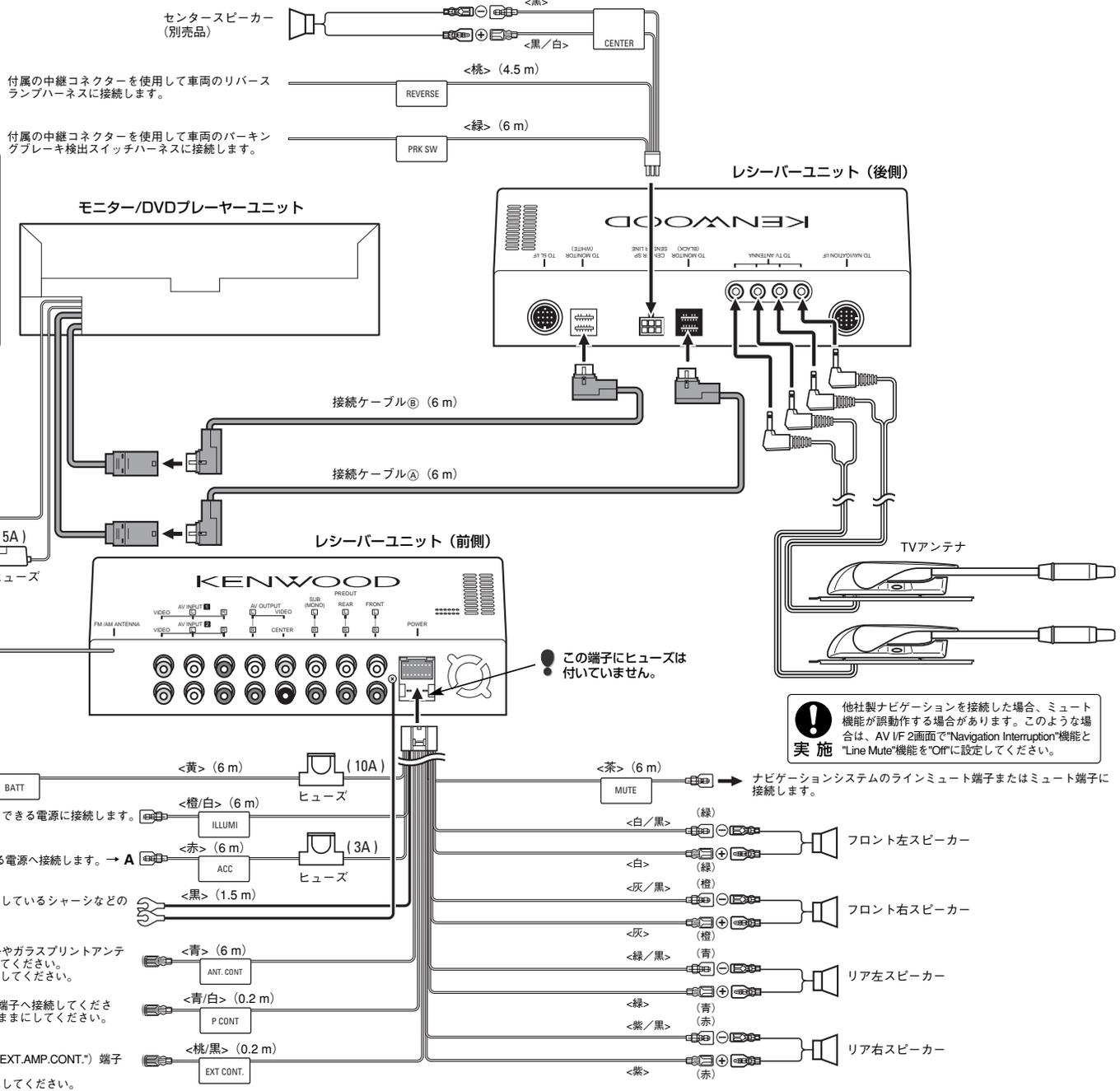
! 雑音が入る場合がありますので、FM/AMアンテナ延長ケーブルは、ディスクチェンジャーケーブルなどから離して配線してください。

実施



! 輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合は、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。

注意



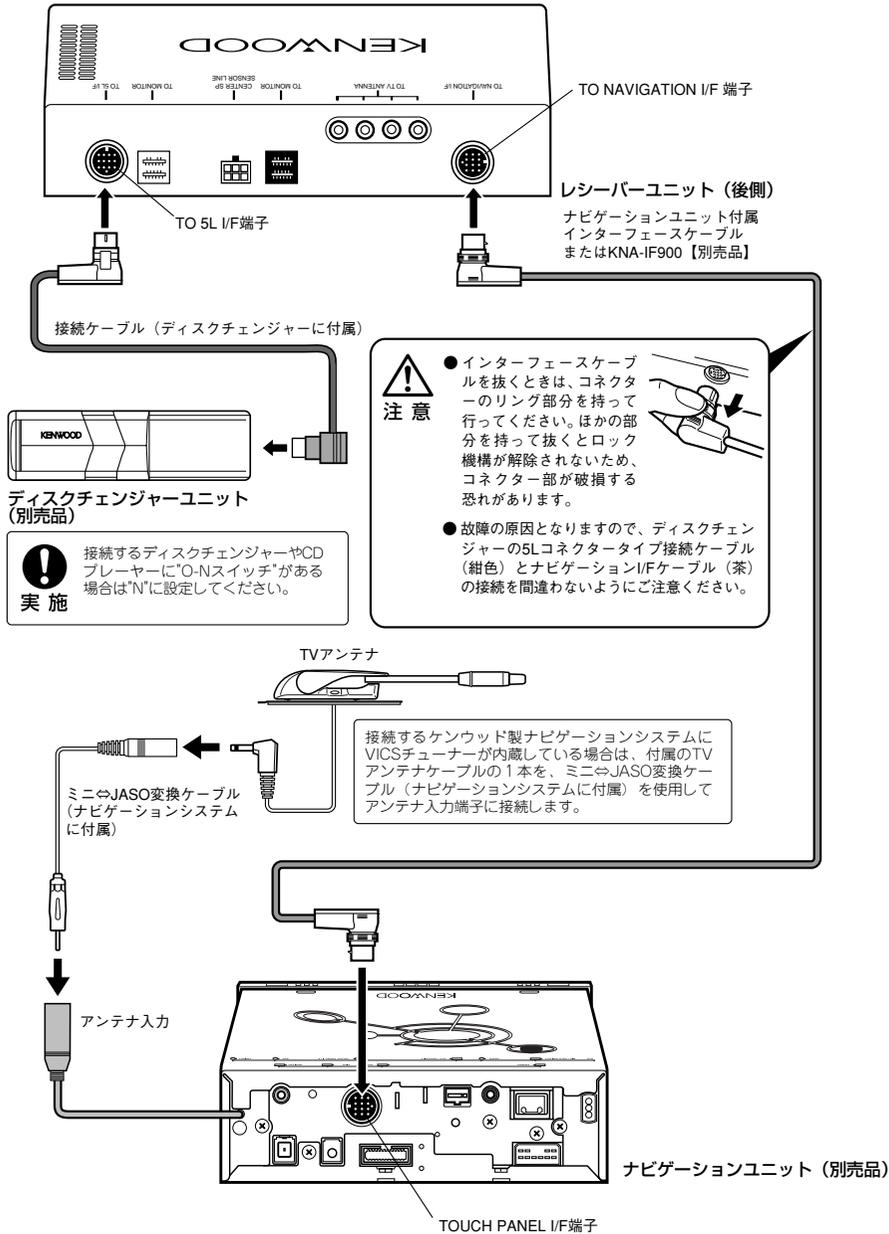
別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

外部アンプの外部アンプコントロール（"EXT.AMP.CONT."）端子に接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

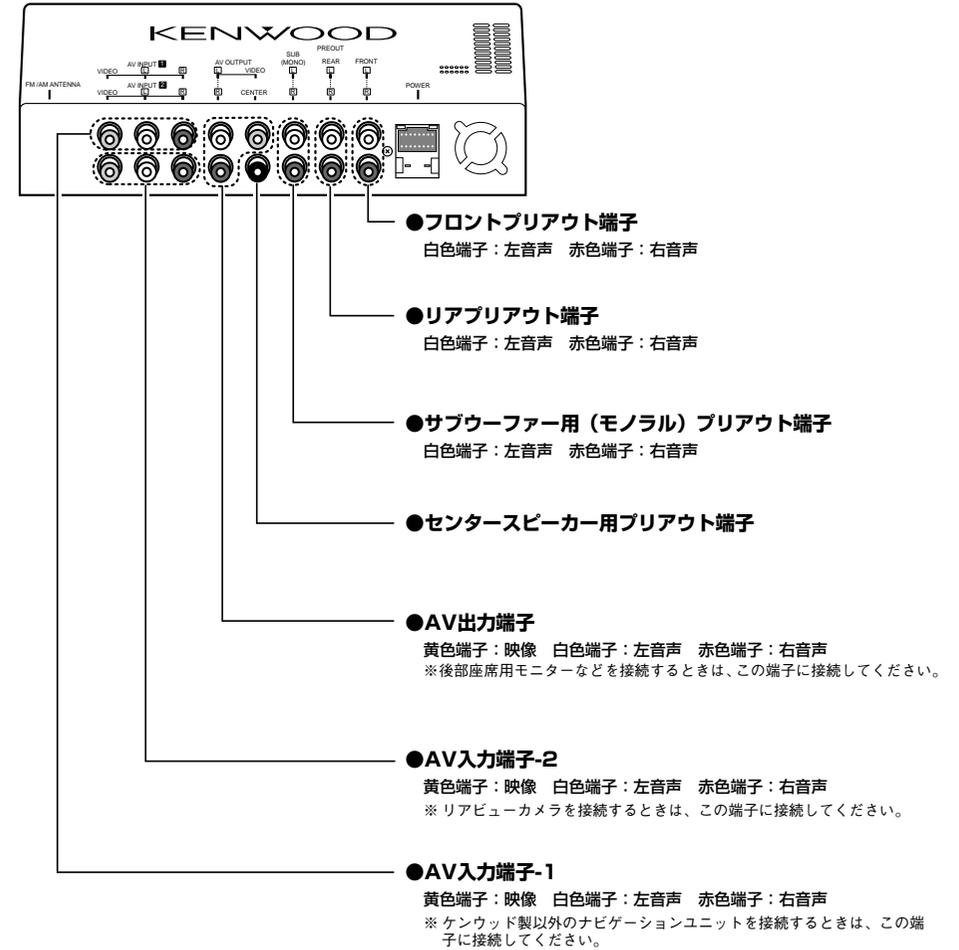
! 他社製ナビゲーションを接続した場合、ミュート機能が誤動作する場合があります。このような場合は、AV I/F 2画面で"Navigation Interruption"機能と"Line Mute"機能を"Off"に設定してください。

実施

システム接続



接続端子について



MEMO AV機器やアンプとの接続には、別売品の映像ケーブルやRCAケーブル(CA-22SL/CA-52SL/CA-53WL)、または、市販品のAVケーブルやオーディオケーブルをご使用ください。別売品のケーブルについてはカタログをご覧ください。

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

PBC (プレイバックコントロール)

本機は、プレイバックコントロール (PBC) 付き対応ビデオCD (バージョン2.0) に対応しています。

PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。

Dolby Digital (ドルビーデジタル)

ドルビー研究所の開発したデジタル音声の圧縮技術です。5.1チャンネル・サラウンドに対応しています。すべてのチャンネルを完全に分離した形で記録されているため、大量の音声データを効率良くディスクに収められ、またデジタルのため劣化しにくい特長があります。

DTS

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTSはDigital Theater Systemの略。

Dolby Pro Logic II (ドルビープロロジックII)

最新のデジタルマトリクス技術を応用し、これまでのDolby Pro Logicをさらに進化させたマトリクスデコード技術です。

ドルビーサラウンドをはじめ、CDのようなステレオ音源に対しても優れた5.1ch再生を実現します。

サラウンドチャンネルはフルバンド化 (20Hz~20kHz)、ステレオ化されたあらゆるステレオ音源を5.1chの迫力あるサウンドでお楽しみいただけます。

再生するソースに合わせてMovieモード、Musicモード、Matrixモードから選択できます。

なお、Dolby Pro Logic IIIに切り替えたときは、特性上音量が小さくなります。

視聴規制 (バレンタルロック)

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

本機はMP3/WMAファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。以下に記載されている制限文字数はいずれも1 byte文字を使用した場合の文字数です。

使用できるメディア

使用できるMP3/WMAを収録するためのメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。なお、本機では簡易フォーマットで作成されたメディアはプレイできません。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1、MPEG 2 Audio Layer 3規格のもです。

- サンプル周波数：32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート：8~320 (kbps)

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのもです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプル周波数：44.1, 48, 32 (kHz)
- ビットレート：48 ~ 192 (kbps)

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL:http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

また、コピープロテクト (著作権保護) されたファイルはプレイできません。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数 (区切り文字 "." と拡張子3文字を含む) です。

- ISO 9660 Level 1 : 12文字
- ISO 9660 Level 2 : 31文字
- Joliet : 64文字
- Romeo : 128文字

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、170文字まで表示が可能です。使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：100
- 最大フォルダ名：64文字

前記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトの設定

MP3/WMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定を"128kbps"の"固定"にすることを推奨します。

ライティングソフトの設定

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、"Disc at Once"の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字、カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、MP3/WMAファイルと認識されてプレイされるファイルは、".MP3"または".WMA"の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、".MP3"または".WMA"拡張子を付けて保存してください。

 MP3/WMA以外のファイルに、".MP3"または".WMA"の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3/WMA以外のファイルに、".MP3"または".WMA"拡張子を付けられないようにしてください。

ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数字、カタカナ、日本語 (シフトJIS) です。

ID3 Tagで表示できるのは、曲名、アーティスト名およびアルバム名の30文字までです。

また、WMA Tagで表示できるのは、曲名およびアーティスト名の30文字までです。

メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。

また、次のMP3/WMAファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

MP3/WMAファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもありますが、"01"~"99"などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定することができます。

■ 共通/テレビ/FM-AM

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続のしかた」(88ページ)を見て正しく接続してください。

モニターにテレビやビデオの映像が出ない

- パーキングブレーキが引かれていない。
- パーキングブレーキを引かないとテレビやビデオ(DVD/VCD含む)の映像は視ることはできません。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 音量を適度に上げてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- リセットボタンを押してください。

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

TVやFM/AMチューナーの感度が悪い

- アンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。(FM/AM)
- アンテナ入力がかちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続のしかた」(88ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続のしかた」(88ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(5ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(6ページ)

リモコンで操作できない

- リモコンモード設定スイッチが正しく設定されていない。
- 使用するソースに合わせてリモコンモード設定スイッチを切り替えてください。

■ DVD/VCD/CD

DVDモードを選んでも再生しない

- ディスクがセットされていない。
- ディスクを裏返しに入れている。
- ディスクが汚れている。
- 本機で再生できないディスクが入っている。
- 視聴制限がされている。
- プレイするディスクをセットしてください。
- ディスクを確認し、ラベル面を上に入れてください。
- ディスクをクリーニングしてください。(8ページ)
- 再生できるディスクか確認してください。
- 視聴制限を解除、または規制レベルを変更してください。

ディスクが入らない

- すでにディスクが入っている。
- 入っているディスクを取り出してから入れてください。

映像が乱れる

- 早送り/早戻ししている。
- 多少乱れることがありますが、故障ではありません。

ディスクのプレイ中に振動で映像/音が切れる

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。
- 30°以下になるように取り付けなおしてください。
- しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐車中でも音飛びする場合は同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない/優先言語にならない

- 複数の言語/字幕/アングルが記録されていない。
- メニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

同じ曲しかプレイしない/曲の先頭しかプレイされない/選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

- リピートプレイ機能がオンになっている。
- スキャンプレイ機能がオンになっている。
- ランダムプレイ機能がオンになっている。
- 機能をオフにしてください。外部CDプレーヤーやディスクチェンジャーでも同様です。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RWに未対応のプレーヤーでプレイしている。
- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

ディスクを取り出せない

- 車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。
- ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

■ MP3/WMA

MP3/WMAディスク、MP3/WMAファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2に準拠して記録されていない。
- MP3/WMAファイルに拡張子が付いてない。
- ディスクに傷や汚れがある。
- System Set up - System2の"CD Read"項目が"2"に設定されている。
- ISO9660 level1/2に準拠したディスクを使用してください。
- MP3/WMAファイルに拡張子".MP3"または".WMA"を付けてください。
- ディスクをクリーニングしてください。(8ページ)
- "1"に設定してください。(59ページ)

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ISO9660 level1/2に準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。
- ISO9660 level1/2に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

MP3/WMAディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

- MP3/WMAファイル以外に拡張子が付いている。
- MP3/WMAファイル以外に拡張子".MP3"または".WMA"は付けないでください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

- MP3/WMAファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAディスクをプレイするまで時間がかかる

- ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。
- 最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3/WMAファイルが順番どおりにプレイされない

- プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。
- ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に"00"-"99"などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

ID3 Tag情報が正しく表示されない

- ID3 tagがv1.xに準拠して記録されていない。
- ID3 tagをv1.xに準拠して記録してください。また、本機のソフトウェア制作時以降に拡張されたID3 tag v1.x規格が使用されているMP3ファイルをプレイ時も、表示が正しくされない場合があります。

CD-RWに記録したMP3/WMAファイルがプレイされない

- CD-RWの消去を簡易フォーマットで行ったため。
- CD-RWを消去するときは、フルフォーマットで行ってください。

本機では各種設定により設定ができなくなる機能があります。

- Zone設定ができない。
- SFC Adjustの"Rear Bass Boost"の設定ができない。
- DTA設定のリアスピーカーの設定ができない。
- Position Fine Controlのリアスピーカーの設定ができない。
- Channel Levelのリアスピーカーの設定ができない。

Speaker Set Up (50ページ) でリアスピーカーを"NONE"に設定している。

- SFC (サウンドフィールド) の設定ができない。
- シグナルの設定ができない。
- Parametric Equalizerの設定ができない。
- Position (Position Fine Control) の設定ができない。
- Car Type Set Upの設定ができない。
- Speaker Set Upの設定ができない。
- クロスオーバーの設定ができない。
- Channel Level (テスト信号の出力) の設定ができない。

Zone Control (76ページ) をオンに設定している。

- SFC (サウンドフィールド) を"Bypass+Center"に設定できない。
- SFC Adjustの"Center Level"の設定ができない。
- SFC Adjustの"Center Width Control"の設定ができない。
- DTA設定のセンタースピーカーの設定ができない。
- Position Fine Controlのセンタースピーカーの設定ができない。
- Channel Levelのセンタースピーカーの設定ができない。

Speaker Set Up (50ページ) でセンタースピーカーを"NONE"に設定している。

- SFC Adjustの設定ができない。

SFC (サウンドフィールド) (70ページ) を"Bypass"または"Bypass+Center"に設定している。

- SFC (サウンドフィールド) を"Dolby PL II"に設定できない。

Speaker Set Up (50ページ) でセンタースピーカーとリアスピーカーを"NONE"に設定している。

- DTA設定のサブウーファーの設定ができない。
- Position Fine Controlのサブウーファーの設定ができない。
- Channel Levelのサブウーファーの設定ができない。

Speaker Set Up (50ページ) でサブウーファーを"NONE"に設定している。

Eject	ディスクチェンジャーにマガジンが入っていない、またはマガジンが完全に入っていない。
Heat Error	本機内部の温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。 ☞ 取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのうちに表示は消えます。
Hold Error	外部ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示がでます。 ☞ ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度が下がれば使用できるようになります。
Mecha Error	本機内部ディスクプレーヤー部が正しく動作していない。 ☞ 一度ディスクを取り出して、再度挿入して下さい。それでも表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービスへお問い合わせください。
Disc Error	本機で再生できないディスクを入れた。 ☞ 再生できるディスクを入れてください。
Read Error	ディスクが裏返しになっている。 ☞ レーベル面を上にして再度入れ直してください。 ディスクが異常に汚れている。 ☞ ディスクをクリーニングしてみてください。
Region Code Error	本機で再生できないリージョン番号のディスクを入れた。 ☞ 再生できるリージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れてください。
Parental Level Error	本機で設定した視聴規制レベルより高い映像箇所を再生した。
Error 07 - 67	何らかの原因でエラーが起きている。 ☞ 一度リセットボタンを押してみてください。それでも表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービスへお問い合わせください。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より **1年** です。

修理を依頼されるときは

「HELP」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。(別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

本体

モニター部

画面サイズ	7V型ワイド 154mm(幅)×87mm(高)×177mm(対角)
透過TN型	
表示方式	TFTアクティブマトリクス
駆動方式	480H×234V×RGB
画素数	336,960個
有効画素数	99.99%
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源(照明方式)	冷陰極管

DVD部

D/Aコンバーター	24 bit
A/Dコンバーター	20 bit
デコーダー	リニアPCM ドルビープロロジックII ドルビーデジタル dts MLP MP3/WMA
ワウ/フラッター	測定限界以下
周波数特性	192kサンプリング時 20~88,000Hz 176.4kサンプリング時 20~80,000Hz 96kサンプリング時 20~44,000Hz 88.2kサンプリング時 20~40,000Hz 48kサンプリング時 20~22,000Hz 44.1kサンプリング時 20~20,000Hz
高周波歪率	0.003%
S/N比	100dB (DVD-Audio 192k)
ダイナミックレンジ	100dB (DVD-Audio 192k)
対応DISC	DVD-Audio/ DVD-Video/ VIDEO-CD/ CD-DA
サンプリング周波数	44.1kHz/ 48kHz 88.2kHz/ 96kHz 176.4kHz/ 192kHz
量子化ビット数	16/ 20/ 24 bit直線

DSP部

4BANDパラメトリックイコライザー	
BAND1周波数	60/ 80/ 100/ 120/ 160/ 200/ 250Hz
BAND2周波数	315/ 400/ 500/ 630/ 800/ 1kHz
BAND3周波数	1.25k/ 1.6k/ 2k/ 2.5k/ 3.15k/ 4kHz
BAND4周波数	5k/ 6.3k/ 8k/ 10k/ 12.5k/ 16kHz
GAIN調整幅	-9, -7, -5, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 5, 7, 9dB
尖鋭度	0.25/ 0.5/ 1.0/ 2.0
クロスオーバー	
HIGHPASSFILTER 周波数	30/ 60/ 70/ 80/ 90/ 100/ 120/ 150Hz
SLOPE	12/ 18/ 24dB
HIGHPASSFILTER 周波数	60/ 70/ 80/ 90/ 100/ 120/ 150Hz
SLOPE	12/ 18/ 24dB
タイムアライメント	0~6.1m (5cm Step)
チャンネルレベル調整幅	±10dB

外部ユニット部

FM部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	76.0MHz~90.0MHz (100kHz)
実用感度 (S/N:30dB)	9.3dBf (0.8μV/75Ω)
S/N50dB感度	15.2dBf (1.6μV/75Ω)
周波数特性 (±3.0dB)	30Hz~15kHz
S/N比 (dB)	75dB (MONO)
選択度	80dB以上 (±400kHz)
ステレオ・セパレーション	40dB (1kHz)

AM部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	522kHz~1629kHz (9kHz)
感度	28dBμ

TVチューナー部

カラーTV放送方式	NTSC-M
受信チャンネル	(VHF) 1~12ch (UHF) 13~62ch
選局方式	PLL周波数シンセサイザー方式
復調方式	スプリットキャリア方式
アンテナ入力(入カインピーダンス)	4ch*117Ω (75Ω/ミニジャック3.5φ)
外部映像入力レベル	1Vp-p/75Ω
外部音声最大入力レベル	1V22kΩ
アナログRGB入力	0.7Vp-p/75Ω

オーディオ部

最大出力	50W×4
定格出力	30W×4 (4Ω, 1kHz, 10%THD)
最大出力(センタースピーカー)	47W×1
定格出力(センタースピーカー)	29W×1 (4Ω, 1kHz, 10%THD)
プリアウト・レベル (FM)	5V/10kΩ
プリアウト・インピーダンス	80Ω

一般

電源電圧	14.4V (11V~16V)
最大消費電流	15A
寸法 (W)×(H)×(D) 本体埋込寸法	178mm×50mm×165mm
外部ユニット	225mm×40mm×168mm
使用温度範囲	-10℃~60℃
保存温度範囲	-20℃~85℃
重量 本体	2.2kg
外部ユニット	1.4kg

TVアンテナ部

出力仕様	75 Ω/ミニジャック3.5φ
ケーブル長	6m
寸法 (W)×(H)×(D) 本体	190mm×28.1mm×30mm
重量	250g (×2)

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
※液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 電話 (045) 933-5212 FAX (045) 933-5553
カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話 (06) 6394-8085 FAX (06) 6394-8308
受付時間：9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店または別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、各営業所にご相談ください。